世界の国を**知る** 世界の国から**学ぶ**

わたしたちの**地球**と**未来**

アメリカ合衆国

【表紙の写真】

左上：ニューヨークの「自由の女神」像

アメリカ合衆国の独立100周年を記念してフランスから贈呈されました。自由と民主主義の象徴であるとともに、世界各地からやってくる移民にとって新天地の象徴にもなっています。1984年世界文化遺産に登録されました。

右下：ハロウィーンのコスチュームをまとった子どもたち

ハロウィーンは、10月31日に行われるカトリックの伝統行事。かぼちゃをくりぬいた中に、ろうそくを立て、魔女やお化けなどに仮装した子どもたちが、「トリック　オア　トリート（Trick or Treat　お菓子をくれなきゃいたずらするゾ！）」と言って近所の家を一軒一軒回り、お菓子をもらいます。

山中麻奈未

Contents

01 こんな想いを込めました!
02 こんな教材です!
03 なぜアメリカ合衆国?

第 1 章 アメリカってどんな国？
＝多様な移民の力を結集して
新しい可能性を生み出す国＝

05 アメリカは今何歳? アメリカは誰のもの?
07 「移民の国」アメリカ
09 フォトで旅するアメリカ
11 アメリカ No.1!
13 アメリカ エトセトラ!
15 ちょっとブレイク ～領土拡大と先住民～

第 2 章 へぇ～！アメリカと日本

17 探検! アメリカの学校
19 日本とアメリカ:切っても切れない深いつながり
21 「日系アメリカ人」について知っていますか?
23 ちょっとブレイク ～日米関係 簡易年表～

第 3 章 一緒に考えよう！こんな課題

25 多様性の生み出すものは?
27 「ファーストフード化」はおいしいの?
29 なぜ戦争が起こるのだろう? 平和な世界をつくろう!
31 フォトギャラリー
～忘れてはいけない! アメリカの大自然～

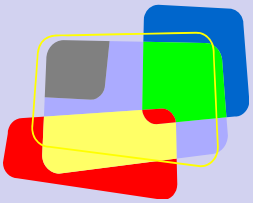
第 4 章 そして未来へ

33 世界を変えるスピーチ
35 この星をこれ以上こわし続けないで
～12歳の少女が地球サミットで語った伝説のスピーチ～

★参考資料★

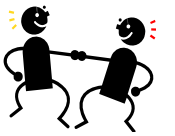
39 目で見るアメリカ
41 アメリカ地図
43 参考文献・データ等の出典
43 ご協力いただいた方たち
43 2009年度教材作成チーム

※本書では
「アメリカ」は、「アメリカ合衆国」を指します。
また、「インディアン」は、「アメリカン・インディアン」「ネイティブ・インディアン」などとも言われるアメリカの先住民を指します。
→P.4



こんな想いを込めました！

愛知万博で体験した国際交流の楽しさを広げていきたい！つなげていきたい！
そんな想いが本書作成のきっかけでした。



● 国際交流は楽しい！

『世界大交流』をうたった2005年愛知万博。120カ国の文化や生活に触れたり、いろいろな国の人たちと話をしたりすることは、とても楽しい経験でした。「国際交流」はけっして難しいことではありません。自分の視野を広げ、他者を尊重する力を育むことにもつながり、そうした力は多文化共生社会を実現するためにも欠かせません。そんな国際交流の楽しさ、大切さを愛知から発信していきたいと考えました。

● 人の顔が見える教材をつくりたい！

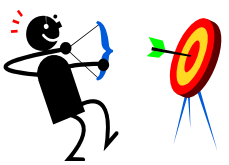
「日本ってこんな国」「日本人ってこんな人」って決めつけられて違和感を感じた経験はないでしょうか？ 国全体の概要を知ることももちろん大切ですが、何となく持っている固定概念をもしかしたら裏切るような、「へぇ〜。こんな一面もあるんだ」と意外に思えるような、そんな教材をつくりたいと考えました。 そうすることによって、「わたしたちが世界のことをいかに知らないか」ということや「普段見聞きしている情報はほんの一面にすぎない」ということに気づいてもらうとともに、そこに住んでいる人々を身近に感じてもらえたらいいなと思います。

● 世界の国から学ぶ！

どんな国もいいところ、悪いところ、いろいろな面を持っています。何が幸せなのか、「豊か」の基準は何なのか、といった価値観もさまざまです。例えば、途上国だから「かわいそうな国」ではありませんし、紛争があるから「こわい国」でもありません。日本にもたくさんの問題があります。様々な国の、特にすばらしいところを知ることによって、対等な関係をつくるとともに、自分たちの地域や生活をふりかえることができると考えました。国にも人にも文化にも優劣はないことを踏まえて、お互いに学び合える関係がつくれたらいいなと思います。

● 未来を創るのはわたしたち！

地球はさまざまな課題を抱えています。環境や人権や平和など、日本も無関係ではありません。 地球に住む一人ひとりがそれらの課題に取り組まなければ、よりよい未来を創ることはできないのです。そしてよりよい未来を創るためには、今、地球で起こっていることは何なのかを知り、それが自分とつながっていることに気づくことが大切だと考えました。本書に掲載されていることは、地球で起こっていることのほんの一部ですが、それらを通して感じたこと、気づいたことが未来につながっていくといいなと思います。



こんな教材です！

次のようなことを考えて作りました。

●ファシリテーター・先生用の教材です

内容については、小学生高学年以上を対象としていますが、本書自体は、ファシリテーター（参加型プログラムの進行役）や先生に使っていただくための教材となっています。ことば遣いなど、対象に合わせて直してください。必要に応じてコピーし、配布していただいても結構です。

●参加型で使うことができる教材です

情報・知識を聞くだけでなく、考えたり、作業をしたり、話し合ったりすることによって楽しく学べるとともに、その中で何かを感じたり、気づいたりしてもらえるようなプログラムにしました。基本的には4～6人のグループに分かれて行うプログラムになっています。必ずしも正解があるものばかりではありません。参加型のプロセスを大切にしていただければと思います。

●きっかけづくりの教材です

本書で紹介したのは、アメリカ合衆国のほんの一面です。本書だけでアメリカ合衆国のすべてがわかるわけではありません。アメリカ合衆国に親しみを感じ、関心をもってもらうと同時に、自分たちの地域をふりかえり、地球的課題を考えるきっかけとして活用してください。

●使い方は自由です

とはいうものの、使い方は自由です。もちろん、最初から順番にやる必要はありません。対象に応じてプログラムの進め方を変えたり、時間的な条件によって短縮したりするなど調整することもできます。参加者にあわせてどんどんアレンジして使ってください。巻末に参考資料を掲載していますので、最新のデータが必要なときや、もっと深めたいときは、活用してください。

●カラーデータ・写真はダウンロードできます

カラーデータ・写真については、（財）愛知県国際交流協会のホームページからダウンロードできます。ただし、著作権は出典元または（財）愛知県国際交流協会に帰属します。学校関係や国際交流団体等が教育の目的で非営利に使う場合に限り、活用していただけます。

●本書の構成とマークの見方

基本的に、1項目2～4ページで掲載しており、実際に使っていただくプログラムと、それに関する説明とで構成されています。それぞれのプログラムの「ねらい」も記載していますので、参考にしてください。また、ページの下段に掲載している一口コラムは、プログラムとは関係なく、ちょっとおもしろい情報や用語の意味などです。必要に応じて活用してください。 なお、本書で使っているマークの意味は次の通りです。

- 参加型のプログラムです。必要に応じてコピーし、配布してください。
- プログラムに関する説明です。ファシリテーター・先生用です。
- プログラムのねらいです。
- ちょっとブレイク一口コラムです。
- プログラムに使う資料です。必要に応じてコピーし配布してください。
- コピーし、カード等に切り離して使ってください。
- プログラムで模造紙を使います。
- プログラムでマジックを使います。
- プログラムで付箋を使います。
- プログラムでA4用紙を使います。裏紙等を活用してください。
- データ等の出典です。
- 写真の撮影者です。

なぜアメリカ合衆国？

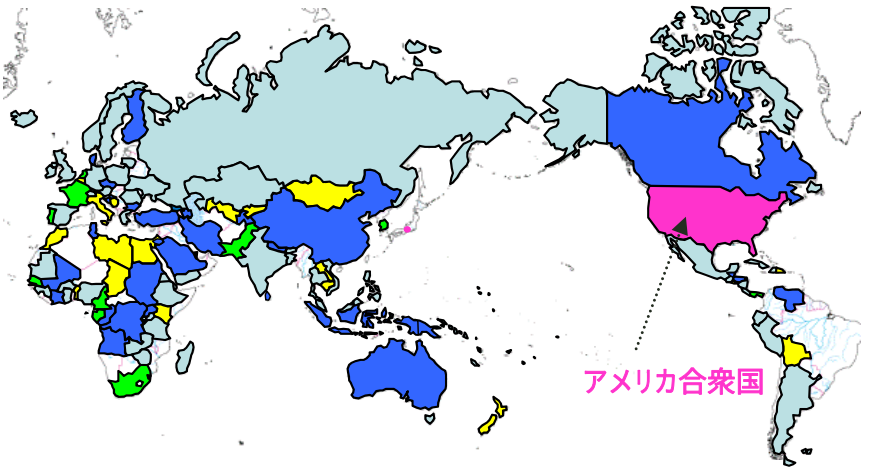
始まりは、2005年愛知万博「一市町村一国フレンドシップ事業」

2005年に開催された愛知万博の会期中愛知県内の市町村は、公式参加国120カ国（日本を除く）のホームシティ・ホームタウンとして、地域ぐるみのホスピタリティあふれる受入を行いました。この取り組みを「一市町村一国フレンドシップ事業」と言います。このフレンドシップ事業では次の5つのことをねらいとしました。

●世界各地から訪れる人々に日本や日本人を理解してもらう
●迎え入れる地域の人々に、交流を通じて、世界には多様な価値や文化があることを知ってもらう
●万博会場内だけではなく、地域でもてなすことで、万博を相互交流を深めるための大きな舞台とする
●地域文化を世界に発信することにより、各地域が自らの文化を再発見し、地域のあり方や発展の方向性について学ぶ機会とする
●地域に根ざした「人」と「人」との交流を万博終了後も引き継ぎ、世界の人々をつなぐ架け橋としてさらに発展させる

この「一市町村一国フレンドシップ事業」をさらに広げ、
つなげていこうと作成したのがこの教材です。
そして、アメリカ合衆国のホームシティは、**豊橋市・豊田市・安城市**でした。

愛知万博／アメリカ館



2009年度作成予定（33カ国）	アゼルバイジャン共和国 アメリカ合衆国 アンゴラ共和国 イラン・イスラム共和国 インドネシア共和国 ウガンダ共和国 オーストラリア連邦 カナダ グルジア コートジボワール共和国 コンゴ共和国 サントメ・プリンシペ民主共和国 スーダン共和国 スリランカ民主社会主義共和国 タイ王国 タジキスタン共和国 中華人民共和国 チュニジア共和国 デンマーク王国 トルコ共和国 ネパール連邦民主共和国 パプアニューギニア独立国 フィンランド共和国 ブルガリア共和国 ベネズエラ・ボリバル共和国 ベリーズ ボスニア・ヘルツェゴビナ ホンジュラス共和国 マーシャル諸島共和国 マリ共和国 ヨルダン・ハシェミット王国 リトアニア共和国 ルワンダ共和国
2008年度作成（20カ国）	イタリア共和国 ウズベキスタン共和国 エジプト・アラブ共和国 エルサルバドル共和国 カンボジア王国 キリバス共和国 キルギス共和国 ケニア共和国 サウジアラビア王国 大リビア・アラブ社会主義人民ジャマーヒリーヤ国 チャド共和国 ドミニカ共和国 ニュージーランド フィジー諸島共和国 ベナン共和国 ベルギー王国 ボリビア共和国 モロッコ王国 モンゴル国 ラオス人民民主共和国
2007年度作成（10カ国）	オランダ王国 ガボン共和国 カメルーン共和国 セネガル共和国 大韓民国 パキスタン・イスラム共和国 パナマ共和国 フランス共和国 ポルトガル共和国 南アフリカ共和国

第1章

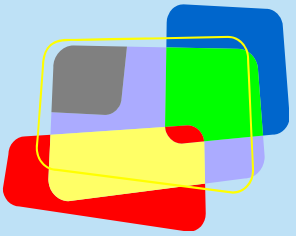
アメリカってどんな国？

＝多様な移民の力を結集して
新しい可能性を生み出す国＝

※ 本書では、アメリカ先住民族の呼称を「インディアン」としています。「インディアン」ということばを差別用語として「ネイティブ・アメリカン」と呼ぶべきという意見もありますが、「ネイティブ・アメリカン」には、エスキモーやアリュート（アリューシャン列島の先住民）、ハワイ諸島先住民等すべての先住民が含まれます。

もともと「インディアン」は「in Dios」（聖なる道を生きる人たち）から来ていると主張する研究家もおり、インディアン自身が日常的に「インディアン」を使っていることを踏まえ、民族名を超えた呼称として「インディアン」を使います。

また、「エスキモー」についても、アラスカに住むエスキモー民族の公式の名称なので、そのまま使います。ちなみに、「イヌイット」は、カナダとグリーンランドに住む民族を指し、アラスカのエスキモーは「イヌイット」ではありません。



アメリカは今何歳？　アメリカは誰のもの？

アメリカ合衆国は、実はかなりの若者。アメリカの歴史をみてみましょう。

4〜5人のグループになって考えてみましょう。

1（　　）にはいる言葉は何でしょう。ヒントを参考にしてください!

アメリカが世界の歴史に大々的に登場するのは（ A ）が新大陸、すなわち南北アメリカ大陸を発見した時。このとき（ A ）はアメリカ大陸をインド周辺だと思い込み、そこに住んでいた人々を（ B ）と呼びました。1492年のことで、そのころ日本は室町時代です。

アメリカ合衆国がひとつの国として成立したのは（ C ）年。日本の江戸時代の後期です。（ D ）との9年間に及ぶ「独立戦争」の結果「パリ条約」が結ばれ、アメリカ大陸にあった（ D ）の植民地が独立してアメリカ合衆国となりました。「独立戦争」では、フランス、スペイン、オランダ、ロシア、プロセイン（現ドイツの源）などの国が植民地を応援し、参戦する国もありました。

「パリ条約」では13の植民地が独立を認められ、13の「州」になりました。

その後「州」の数は増え、アメリカ合衆国には現在（ E ）の州があります。

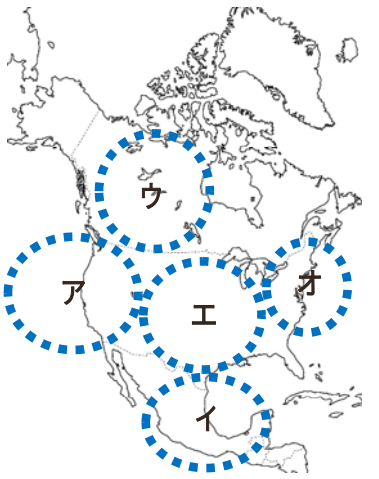
ヒント

A この人です

C 1565年、1607年、1783年、1853年のいずれかです。

D 国の名前です。アメリカはこの国の植民地でした。

2 次の北アメリカ大陸の地図の中で、アメリカの最初の13州はア〜オのどの地域でしょう。



3 アメリカが独立してから現在の形になるまで、アメリカは段階的に8回に渡り国土をどんどん広げていきました。どんな方法で国土を広げたのでしょう。国が領土を拡大するときどんなことが起こっているのか考えてみましょう。

4 アメリカの国土となった土地は、もともとは誰のものだったのでしょう。話し合ってみましょう。

5 アメリカは今何歳でしょう。そして、アメリカは誰のものでしょう。話し合ってみましょう。

アメリカの各州は「州の標語」を持っています。「自由と統一」（バーモント州）、「私が道を示す」（メーン州）などです。「自由」「独立」「徳」「神」「団結」「前進」「権利」などの言葉がよく使われています。

P.5のこたえと解説です。

アメリカの歴史は比較的浅く、西洋人の入植（植民地化）によって拡大・発展していったことを知る。

アメリカ大陸発見と領土拡大の歴史

1 A コロンブス　B インディアン　C 1783　D イギリス　E 50

※Cのヒントの年はそれぞれアメリカの歴史にとって重要な年です。

1565年：スペインがフロリダに植民地を建設。現アメリカ合衆国におけるヨーロッパ最初の植民地です。その後、1603年にフランスが現アメリカ合衆国に植民地を建設しています。

1607年：イギリスが現アメリカ合衆国に植民地の建設を始めます。ヴァージニア植民地と呼ばれ、後のヴァージニア州になります。

1783年：独立戦争は1775年から9年間続きました。アメリカの「独立宣言」は1776年に出されています。

1853年：アリゾナなどをメキシコから購入し、ハワイ、アラスカを除く48州の地域が確定し、現在のアメリカ合衆国がほぼ成立。アラスカは1867年、ハワイは1898年にアメリカ領土となり、ともに1959年に州となります。1853年はアメリカからペリーが浦賀港に来航した年でもあります。

2 オ

地球儀を思い浮かべてみましょう。ヨーロッパに一番近い地域から入植が始まりました。

『図解雑学アメリカ』

3 初期のアメリカの歴史は、ヨーロッパ諸国の領土の奪い合いの歴史でもあります。17～18世紀、イギリス、フランス、スペイン、オランダがアメリカ大陸に領土を持っていましたが、結局イギリスが戦争に勝利して（フレンチアンドインディアン戦争：1745～63）アメリカでの覇権を手にします。その後、アメリカ合衆国が独立戦争に勝ってイギリスから独立し、領土を拡大しました。

領土拡大の主な方法は、

戦争による割譲（敗戦国の土地を奪うこと）
外交による譲渡
一方的な併合
金銭による購入

でした。（→P.15「ちょっとブレイク：アメリカの領土拡大」参照）

アメリカ合衆国の領土拡大の歴史は、「移民によるアメリカ大陸開拓の歴史」でもあります。「アメリカンドリーム」を夢見て、たくさんの移民が「新大陸」を訪れました。彼らの力でアメリカは拡大し、発展していったのです。しかし、その影には労働力として強制的にアフリカから連れてこられた黒人奴隷の存在もあります。

また、**アメリカの土地にはもともと先住民である「インディアン」が住んでおり、「インディアン」にとっては開拓の歴史はまさに「領土剥奪の歴史」**といえます。

4 →P.15ちょっとブレイク「領土拡大と先住民アメリカン・インディアン」参照

5 国として国際社会に認められた1783年から2009年で226歳です。（若いですね！）

アメリカの領土拡大の歴史を見ると、世界の国々の国境がもともとあったものではなく、人間が勝手に取り合って決めてきたものであることがわかります。

ボーダーレス化が進み世界の課題が一国では解決できない現代、「地球全体はみんなのもの、人間は地球市民」と考える視点が改めて必要であり、さまざまな課題解決に力を持つと考えられます。

アメリカ合衆国の標語もあります。「われら神を信ずるものなり」です。

「移民の国」アメリカ

アメリカは「移民の国」とも言われています。いつ頃どんな人々がアメリカを訪れたのでしょう。

アメリカ合衆国の人口は移民などの増加とともに拡大し続けています。独立直後の1790年に初めて国勢調査が行われたとき、人口は約400万人でした。その後10年ごとに調査が行われていますが、2000年の国勢調査では人口は約2億8000万人に増加しています。210年で約70倍です!
その結果、現在アメリカ合衆国には本当に多様な人々が住んでいます。

4〜5人のグループになり、考えてみましょう。

1 次の人々がアメリカを訪れ、生活を始めたのはいつ頃でしょう? 早く訪れた順に並べてみましょう。

A 黒人

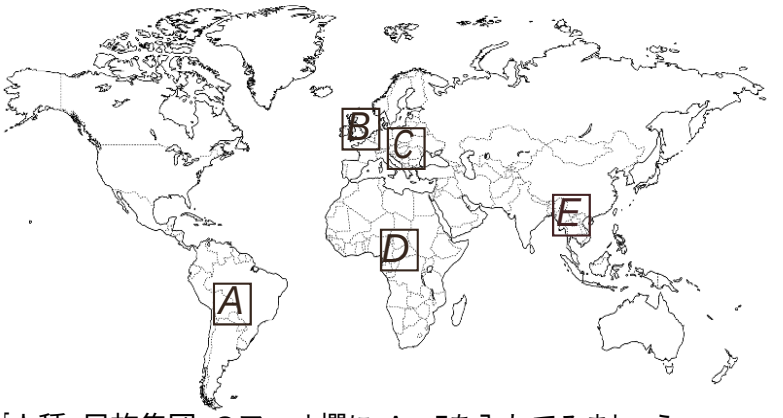
B 日本人

C イギリス人

D インディアン

2 アメリカに移り住む人々（アメリカへの移民）は、同じ地域から同じ時期に大量に移住しています。
地図のA〜Eの地域からの移民の流れ（移動経路）を矢印で世界地図に書き入れましょう。
そのとき、矢印の太さで人数の多さを表しましょう。（多い場合は太く）
最後に、移住をした順番が早い方から
A〜Eを並べましょう。

A 南米　　B 西欧・北欧
C 東欧・南欧　　D アフリカ
E アジア



3 2003年度の人口統計を完成させましょう。「人種・民族集団」のア〜オ欄に、A〜Eを入れてみましょう。

A 白人　　B インディアン　　C 黒人　　D ヒスパニック・ラテン系　　E アジア系

★注 アメリカでは国勢調査のときに自分がどの分類に属するかを本人が選びます。複数選択も可能です。

アメリカの人種・民族別人口（2003年）

人種・民族集団	人口（万人）	割合（%）
全人口	2億9,081	100
ア	1億9,732	67.8
イ	3,989	13.7
ウ	3,709	12.7
エ	1,192	4.1
オ	278	1.0
ハワイ原住民他	49	0.01
複数人種	430	0.14

『異文化社会アメリカ』（研究社）を参考に作成

4 人々はなぜアメリカ大陸を目指し、移民となったのでしょう。アメリカにはどんな魅力があったのか、逆に自分の国に住めない理由があったのか、考えてみましょう。

初めてアメリカを訪れた日本人は、14歳の少年ナカムラ・マンジロウ（ジョン・万次郎）です。
1841年のことでした。

P.7のこたえと解説です。

アメリカに住む人々の多様性を知り、移住の理由について考える。

1 D インディアン → C イギリス人 → A 黒人 → B 日本人

D インディアンは今から約3万年前にアジアから北アメリカに移住したと考えられています。

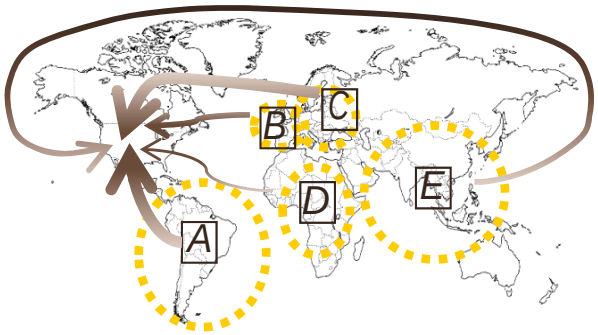
C イギリスからヴァージニア植民地建設のために1607年に初の移民がアメリカ大陸に渡りました。

A アメリカ最初の黒人奴隷は1619年ヴァージニア植民地にオランダ船が運んできた20人のアフリカ人です。初期の黒人奴隷は「終身奴隷」ではなく一定期間働く契約を交わした「年季奉公者」でした。1641年にマサチューセッツで奴隷制度が合法化され、以後ほかの植民地もこれにならいました。奴隷の輸入が禁止される1807年までに約40万のアフリカ人が奴隷として北アメリカに輸入されました。(→P.26)

B 明治元年（1868年）日本人最初の海外移住者153名がサトウキビプランテーションで働くためにハワイに渡っています。アメリカ本土には1869年会津藩の約40人がカリフォルニア入植したのが最初です。

2 B 西欧・北欧 / D アフリカ → C 東欧・南欧 → A 南米 / E アジア

B 1790年の国勢調査時、400万の人口の約81%が白人（うち80%がイギリス出身）で、19%が黒人でした。1840～1890年に約1400万人が西欧・北欧から大量に移住しました。西欧・北欧には、イギリス人、ドイツ人、アイルランド人、スカンジナビア人などがいます。これらの移民はアイルランド人を除いてはほとんどがワスプ（WASP：White Anglo-Saxon Protestant：アングロサクソン系の白人キリスト教プロテスタント信者の人）です。ワスプの文化がアメリカの文化の基盤です。



D 1619～1807年に約40万人

C 1891～1931年に約2300万人
東欧・南欧からの移民はイタリア人、ギリシア人、ポーランド人、ユダヤ人などです。

A 1976～2000年に約2600万人

E 1970～2000年に約1000万人

3 ア A 白人　イ D ヒスパニック・ラテン系　ウ C 黒人　エ E アジア系　オ B インディアン
現在白人が人口の約3分の2を占めていますが、ヒスパニック系とアジア系の人口増加が著しく増加し、白人人口の比率は低下傾向にあります。

4 「アメリカンドリーム」という言葉があるようにアメリカへの移民の多くは「アメリカでの成功を夢見て」新大陸に渡りました。アメリカはその成り立ちから、ヨーロッパの古い社会を理念的に否定して築きあげられた「自由で平等な社会」と考えられ、そこでの「機会と成功」を求めて多くの移民が訪れたのです。移民は基本的に上流階級の人はおらず、中間層と下層階級の人々でした。ピューリタンのように信仰の自由を求めたもの、経済的に貧しくて富と成功を求めてきたもの、政治的亡命を求めたもの、飢饉のために故国を離れたものなど、さまざまな理由でさまざまな人たちが移民となっています。祖国では生活が成り立たず、仕方なく移民した人も多いです。

一般的に移民が成立するには、移民を押し出す「プッシュ」要因と、移民を引き寄せる「プル」要因が必要です。移民を送り出す国側の「プッシュ」要因としては、戦争や内乱などの政情不安、宗教上の紛争、貧困や経済不況、そして、飢餓や疫病の発生などが挙げられます。
「移民の国」として発達してきたアメリカには、多くの「プル」要因が挙げられます。先に挙げた「新しい考え方」に加え、日本の25倍に及ぶ広大な土地、無尽蔵といえるほどの豊富な資源、そしてその土地を開拓し、資源を開発するために大量の労働力が必要だったことです。

『異文化社会アメリカ』（研究社）

日本のアメリカ大陸への最初の移民となった会津藩の人々は、維新政府に反感を持ち、会津戦争を起こして敗れた人々の生き残りです。アメリカ大陸に新天地を夢見て渡り、カリフォルニアに入植し「ワカマツ・コロニー」を開きましたが、定着はできませんでした。

フォトで旅するアメリカ

日本の約25倍もの面積を持つアメリカ。人だけでなく、街の様子も多様です。
次の写真はすべてアメリカの写真ですが、どこの州を写したものでしょう?
P. 41の地図から選びましょう。

(答えは→P.15下段)

A

州名はチェロッキー族のことば「大きく曲がった川」からきているそうです。カントリーミュージックのメッカとして名高く、エルビス・プレスリー記念館があります。写真は、開拓者が多く住んでいた頃の風景がそのまま保存されたケーズコーブです。

B

州名は「大きな丘のそば」という意味です。イギリスからメイフラワー号に乗ってビルグリム・ファーザーズがたどり着いた州です。

C

州名はアルゴンキン族のileniwe「人間」に由来しています。郊外はトウモロコシ畑が延々と続くコーンベルトを成しています。写真手前はミシガン湖。

D

「美しい川」を意味するイロコイ族のことばから州名がついています。土地が肥沃で農業が盛んです。

E

ロッキー山脈のある美しい自然で有名な州です。映画「シェーン」の舞台であり、「未知との遭遇、特別編」の巨大宇宙船の着陸した場所です。写真はグランドティトン国立公園。

F

アメリカで最大の面積を持つ州。州名は「半島」を意味します。鉱業が盛んで、石油、銅、金、白金などが産出されます。

G

州第2の都市チャールストンのチャールストン湾の入り口にある小さな島のサムター砦は南北戦争の発端となったところです。写真は、チャールストンのレインボー街。

H

州名は「ペンの森」を意味します。独立宣言と合衆国憲法が署名されたインディペンデンスホールや「自由の鐘」があります。

I

アメリカ合衆国の金融の中心的位置を占めます。オンタリオ湖とエリー湖でカナダ国境と接しています。右写真のツインタワーは、2001年の同時多発テロで崩壊しました。

J

州名はスペイン人の書いた物語に登場する空想上の島の名に由来しているという説があります。メキシコ系住民の他、アジアからの移民も多く、民族的に多様な州です。

K

州都は、モルモン教徒が安住の場を求めて建設しました。映画「駅馬車」の舞台としても有名です。写真はモルモン教会です。

L

フランス王ルイ14世にちなんで州名がつけられました。ジャズの発祥の地で、「欲望という名の電車」にも描かれています。

M

州名は、イギリス王ジョージ2世に由来しています。州都は「風と共に去りぬ」の舞台としても有名です。オリンピックも開かれました。写真は、南北戦争リー将軍のレリーフです。

N

州名は、「茂みを開拓する」という意味のチョクトー族のことばから来ています。古くから綿花の栽培が盛んでしたが、近年は大豆、とうもろこしなどを栽培しています。写真は、ロケットセンター。

O

アメリカ合衆国の首都。州には属さない特別区です。

アメリカ　No.1！

歴史の浅い移民の国アメリカですが、数々の点において世界No.1です!

「アメリカンドリーム」を夢見る多くの移民たちのエネルギーを活かして成長してきたアメリカ。
アメリカは今では数々の点において世界のNo.1です。

1 次の写真はアメリカが誇るNo.1を象徴しています。
それぞれどんなNo.1を表しているのでしょうか。

A

B

C

D

E

F

A・D：ウィキペディア
B：ノーベル賞公式サイト

2 ほかにアメリカはどんな点でNo.1だと思いますか。4～5人のグループで話し合ってみましょう。

3 日本はどんな点でNo.1と言えるでしょうか。グループで話し合ってみましょう。

アメリカは広いため本土だけで時間帯が4つに分かれています。1つの国の中で4つの時間帯があり、最大で3時間の時差があるのです。日本と比べると、一番東の地帯に入るニューヨークがマイナス14時間、シカゴがマイナス15時間、デンバーがマイナス16時間、一番西の地帯になるロスアンゼルスがマイナス17時間です。

P.11のこたえと解説です。

移民の力がどんな発展につながったかを知る。

1 **A マイクロソフト社　ビル・ゲイツ氏**

アメリカはIT革命を世界で一番にスタートさせ、現在も業界をリードしています。
また、ビル・ゲイツ氏はアメリカンドリームを成し遂げた人でもあり、億万長者と言われています。
お金持ちの多さもアメリカはNo.1です。2004年「フォーブス」誌が発表した世界の長者番付によれば、第1位のビル・ゲイツ氏を筆頭に、上位10人の内8人をアメリカ人が占めています。

『図解雑学アメリカ』

B ノーベル賞のメダル

アメリカはノーベル賞受賞者数で世界一です。1901年～2005年の受賞者数289名。
2位はイギリスで104名。ちなみに日本は10位で12名。
アメリカのノーベル賞受賞者の中にはユダヤ人がたくさんいます。

『アメリカ合衆国がよ～くわかる本』

C とうもろこし

アメリカはとうもろこし生産量で世界一です。三大作物（米、とうもろこし、小麦）の中でアメリカはとうもろこしの生産量、輸出量で世界1位、小麦の生産量世界3位、輸出量世界1位、米の生産量は世界10位ですが、輸出量で世界3位です。アメリカは農業大国でもあるのです。

D ウォールマート

ウォールマートは世界最大の企業（売上高世界1位）です。アメリカには世界の大企業がたくさんあり、世界10大企業にうち5社がアメリカの企業です。また、アメリカのGDP（国内総生産）も世界1位で、2位の日本、3位のドイツを足してもアメリカには遠く及びません。さらに、アメリカは国民がものを一番多く買う消費大国でもあります。そのため、アメリカの貿易赤字も世界最高です。

『アメリカ合衆国がよ～くわかる本』

E 発電所　電気

アメリカのエネルギー消費量は1日2070万バレルで、世界の24%に当たり世界1位です。アメリカは、石油と天然ガスの消費量や石炭の埋蔵量でも世界1位です。

『新しいアメリカのしくみ』

F ハイテク武器、軍用飛行機

アメリカは世界最大の軍事組織とハイテク兵器を持っています。
武器の輸出量も世界最大で国際取引全体の40～50%を占めているといわれます。
買っているのはほとんど開発途上国です。
軍事支出も世界1位(2814億ドル)で、世界の36%を占め、2位のロシア(439億ドル)、3位のフランス(400億ドル)を大きく引き離しています。日本は4位で(385億ドル)世界の約5%です。

『アメリカ合衆国がよ～くわかる本』『現代アメリカ入門』

2 そのほか、医療研究費、新聞発行紙数、GDP（国内総生産)などたくさんの点において世界1位です。アメリカのGDPは11兆7000億ドル、世界の約29%を占めます。（日本のGDPはアメリカの約40%）
そして、なにより国際社会における影響力の点でも世界1位といえるでしょう。
色々な視点でアメリカのよさ、強さ、逆に問題点の認識につながるよう、幅広く考えてみてください。

3 例えば日本は「平均寿命」で世界1位です。1980年代にスウェーデンを抜いて世界1位になって以来、地位を保っています。WHOの2006年度報告では、男性(79歳)、女性(86歳)、総合(82歳)でいずれも世界1位です。「奈良の法隆寺の金堂と五重塔」は、世界最古の木造建築物です。青森の津軽半島と北海道函館市を結ぶ「青函トンネル」は世界最長の海底トンネルです。日本には古い歴史と素晴らしい技術がありますね。学力の国際比較では、OECDが世界の15歳児童を対象に行っている調査において、2000年数学的リテラシーが世界1位でした。（しかし、2003年は6位、2006年は10位と下がっていて問題になっています。また、同様の調査（IEAが進めているTIMSS)の中で、日本の中学生のテレビを見る時間が長く家庭学習の時間が少ないことが指摘されています。調査対象の45カ国の中で1位でした。)日本は生活習慣、歴史、建築技術、教育など色々な面で優れたところがあります。このほか、日本がどんな点で世界一かについても、具体的な事象にとどまらず、幅広く考えてみてください。

アメリカ　エトセトラ！

いくつかの視点からアメリカを見てみましょう!

4〜5人のグループで考えてみましょう。

1 「星条旗」と呼ばれるアメリカの国旗を描いてみましょう。
デザインにはどんな意味があると思いますか?

2 実は、今のアメリカ国旗と建国当時のアメリカの国旗は違います。
建国当時のアメリカ国旗はどんなものだったと思いますか? 想像して描いてみましょう。

3 アメリカの「3大スポーツ」と言ったら何でしょう。

4 次の中でアメリカ発生の音楽と考えられるのはどれでしょう。(複数あります。)
また、それらの音楽はある音楽を基礎にしています。それはどんな(どの地域の、誰の)音楽でしょう。

A ロック　B ジャズ　C ブルース　D サンバ　E クラシック　F レゲエ

5 アメリカ人の信じている宗教は何でしょう。信じている人が多い順に並べてみましょう

A キリスト教カトリック　B キリスト教プロテスタント　C 仏教　D 無宗教

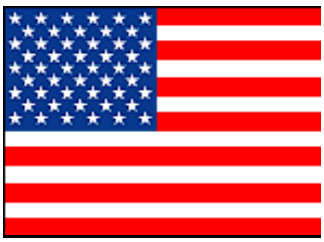
(注)「カトリック」と「プロテスタント」はキリスト教の宗派で、カトリックから分裂してプロテスタントが誕生しました。
プロテスタントは信仰の自由と教理の純粋性を強調することから、分裂を繰り返し、そのなかに多くの宗派を持っています。

6 移民の国アメリカの「アメリカ料理(アメリカン　フード)」ってどんな料理でしょう。
「ピザ」はアメリカ料理でしょうか。イタリア料理でしょうか。

7 移民の国アメリカ合衆国にとって、「違いを活かして一体感を生み出すこと(多様性と統一)」は常に最大の課題になっています。国民が一体感を持つために、アメリカのほとんどの小学校では毎朝、星条旗を使って「あること」を行っています。
それは何だと思いますか? どうやって多様な国民の中に一体感を生み出そうとしているのでしょう?

自由の女神は右手に「自由のかがり火」を揚げ、左手に「独立宣言」を持っています。
アメリカ建国100周年を記念してフランスから贈られました。正式名称は「世界を照らす自由」です。

1 2



現在のアメリカ国旗

建国当時のアメリカ国旗

国旗のなかの星の数は現在50個。条（帯）の数は13本です。
星の数はそのときの州の数を示しており、建国時は13個、現在は50個です。
アメリカ合衆国は移民の国であり、常に「多様性と統一」を最大の課題としてきました。その中で星条旗はすべての州が一枚の旗の上でまとまっていることを表現した統合のシンボルです。

『図解雑学アメリカ』

3 アメリカンフットボール・野球・バスケットボール
「4大スポーツ」になると、「アイスホッケー」が加わります。
アメリカンフットボールはサッカーやラグビーを基にして、アメリカで考え出されたスポーツです。
野球もイギリスのクリケットを基にアメリカ人が考え出したものだと言われています。
アメリカ人はスポーツ好きですが、その背景にはスポーツはアメリカンドリーム達成のひとつの手段と考えられていることがあります。

『アメリカのしくみが手短にわかる講座』

4 A ロック　B ジャズ　C ブルース
ブルースもジャズも黒人音楽、すなわちアフリカの音楽を基礎にしています。ロックは黒人音楽を白人がカバーしたものと考えられ、ブルースにカントリーミュージックが融合したものと考えられています。
（サンバとレゲエは南米発生の音楽で、やはりアフリカ系の音楽を基礎においています。クラシックは西洋の伝統的な音楽です。）

5 B キリスト教プロテスタント➡ A キリスト教カトリック ➡ D 無宗教 ➡ C 仏教
2003年現在、プロテスタント58%、カトリック21%で、国民の約8割はキリスト教徒です。プロテスタント信者が多いことは、アメリカの歴史を反映しています。2001年の調査によると、仏教徒やイスラム教徒は0.3から0.5%、無宗教の人は13.2%です。

6 「アメリカ料理」には、アメリカ合衆国で生まれた料理、アメリカ以外の国で生まれたがアメリカの中で独自の発展を遂げた料理、ならびにアメリカで常食とされている料理が含まれます。今日ではファーストフードとして世界中に普及しているものも多いです。（ハンバーガー、ホットドッグ、フライドチキンなど）「ピザ」はもともとイタリア料理ですが、アメリカで独自の発展を遂げました。日本に最初に入ってきたのはアメリカンピザです。

小学校給食（ランチルームにて） 山中麻奈未

＊スポーツ・音楽・料理のどの分野でも、アメリカ国内で新しい形で発展したものがたくさんあります。

7 アメリカのほとんどの小学校では、毎朝、星条旗を前に、「私はアメリカ合衆国の国旗に忠誠を誓います」と暗唱します。星条旗が統合のシンボルだからです。

忠誠の誓いの全文は、「私は、アメリカ合衆国の国旗とそれが表している共和国、すなわち万人に自由と正義をもたらす、分かつことのできない、神の下にひとつの国に忠誠を誓います。」

ちょっとブレイク
～領土拡大と先住民～

アメリカの領土拡大

アメリカ合衆国は独立後、「割譲」「購入」「譲渡」「併合」の4つの方法で右図のように、8回に渡って領土を拡大しました。詳しくは次のとおりです。

1783年：独立戦争の結果パリ条約でイギリスから割譲
1803年：1500万ドルという超安値でフランスから購入
1819年：スペインからフロリダを譲渡
（500万ドルの補償の代わりに）
1845年：スペインから独立したメキシコの領土だったテキサスを独立させた後併合
1846年：1818年からイギリスと共同統治してきたオレゴンをイギリスから条約により獲得
1848年：米西戦争の結果メキシコから割譲
1853年：メキシコからアリゾナ、ニューメキシコを1000万ドルで購入
1867年：720万ドルでロシアからアラスカ購入
1898年：独立国だったハワイを併合

『図解雑学アメリカ』

領土拡大と先住民アメリカン・インディアン

「アメリカはコロンブスによって発見された」と私たちは教えられてきましたが、それはあくまでヨーロッパ人の観点からのヨーロッパ中心の歴史理解です。ヨーロッパ人がアメリカ大陸を発見する数万年前から先住民としてアメリカン・インディアンは居住していました。その意味で、アメリカン・インディアン（以下インディアンと略す）こそ正真正銘「アメリカ生まれのアメリカ人」と言え、彼らがNative Americanと呼ばれる所以です。

アメリカの地名にはインディアン部族の言葉が多く残っています。アメリカの50州の内27州の名前は、インディアンの言葉が起源と見られています。例えば、Connecticutはモヒカン語で「長い川」を意味し、Iowa はダコタ語で「眠たげな人々」、Tennesseeはチェロキー語で「大きく曲がった川」を意味します。

初期には友好的だった白人とインディアンの関係は、白人の入植者が増加するにつれ、変化し始めました。インディアンは白人から、野蛮かつ残虐であり、新天地を開拓する「神の使命」の障害になるとみなされ、迫害され、土地を奪われ、何より自分たちの信奉する狩猟・採集・農耕に基づいた生活様式を否定され、白人への同化を強要されました。1830年インディアン強制移住法が制定され、チェロキー族をはじめとするインディアン諸部族がミシシッピ以西へ移住させられました。多くの犠牲者を出したこの強制移住は「涙の旅路」として知られます。

ヨーロッパ人がアメリカ大陸に渡米する前のインディアンの人口は900万人から1100万人だったと推測されていますが、19世紀の終わりには25万人程度に激減しています。原因は、ヨーロッパ人が持ち込んだ疫病と、強制移動などによる大量虐殺です。

2002年の統計調査では、インディアンとアラスカ州に住むエスキモーなどの先住民の人口は約275万人です。インディアンは保留地（全米に275ある連邦政府が過去の補償としてインディアンに提供した土地で、連邦政府の権限が及ばない）に住むことができますが、都市に住む人口がだんだんと増え、2000年時点で約66%は都市に住んでいます。インディアンたちの社会経済状況は近年向上はしていますが、個人所得の平均は未だ全米の半分以下です。

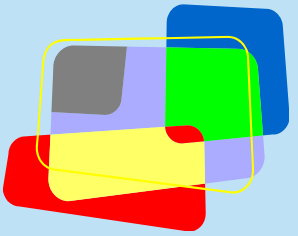
山中麻奈未

『異文化社会アメリカ』『図解雑学アメリカ』

（P.9・10のこたえ） A テネシー州 B マサチューセッツ州（ボストン） C イリノイ州（シカゴ） D オハイオ州 E ワイオミング州 F アラスカ州 G サウスカロライナ州 H ペンシルバニア州（フィラデルフィア） I ニューヨーク州（ニューヨーク） J カリフォルニア州 K ユタ州（ソルトレークシティ） L ルイジアナ州 M ジョージア州 N アラバマ州 O ワシントンD.C（ワシントン・コロンビア特別区）

第2章

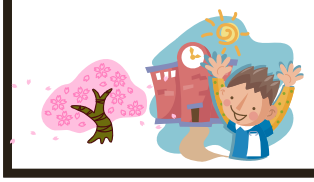
へぇ〜！アメリカと日本



探検！　アメリカの学校

アメリカの学校と日本の学校。似ている点は?違っている点は?

1 アメリカの新学期の始まりは日本と同じ4月。各学期の始まりには日本と同じように始業式など行う。



2 夏休みは6月から約2ヶ月間。日本より長いので宿題がたくさんでる。

3 日本の学校よりも選択科目が多く、体育や音楽や家庭科などは学びたい生徒だけが選択する。

4 日本では先生がクラスを移動するがアメリカでは生徒がクラスを移動し、先生は同じ教室にいる。

5 アメリカの学校には下駄箱がない。

6 アメリカ政府が指定する公用語は英語なので、英語はみんなが学校で学ぶ。

7 アメリカの高校生は自動車で学校に通うことが出来る。

8 日本の学校には飛び級はないが、アメリカの学校には飛び級がある。

9 ひとつのクラスの人数はだいたい40人くらい。

P.17のこたえと解説です。

学校を通して、アメリカの子どもの生活に触れ、アメリカを身近に感じよう。

1 ×ウソ アメリカの学校の新学期の始まりは地域によって多少異なりますが、8月中旬から9月中旬に始まります。その際、入学式や始業式は行われないことが普通です。

2 ×ウソ 6月中旬に学校は約2ヶ月の夏休みに入ります。しかし、宿題などは通常出ません。

3 ○ホント 個人の個性を重視する考え方が浸透しているので、生徒の興味にあった授業が受けられる仕組みになっています。

4 ○ホント 日本のようにほとんどの授業を一緒に受ける「クラス」としてのまとまりはなく、朝と帰りに出欠を確認する程度のまとまりが普通。クラス対抗の行事も基本的にありません。

5 ○ホント アメリカでは家や学校の中でも靴で生活する習慣があり、学校では上履きに履き替えないので下駄箱は必要ありません。

6 ×ウソ アメリカ政府が指定する公用語はありません。アメリカは移民の国なので、お互いの文化を尊重し合い、母国語を知る・学ぶ・話すなどの自由を保障することが平和を保つことにもつながります。州ごとでは公用語を定めている州もあり、現在30州が英語を公用語に指定しています。

7 ○ホント アメリカでは15歳で仮免許、16歳で正式の免許を取得し運転することができます。（州ごとに異なります。）

8 ○ホント すべての教科で飛び級することもありますし、例えば数学が得意な子が、数学だけ一つ上の学年の授業を受けることもできます。

9 ×ウソ ひとつのクラスの人数は通常日本より少なく、だいたい20〜30人です。

アメリカの初等中等教育制度

「小学校の教育は誰もが受ける。」初等教育の義務化を世界で最初に行ったのはアメリカでした。1852年のマサチューセッツ州の決定に始まり、アメリカ全土に広がりました。アメリカでは連邦政府の教育省は、基本的な教育方針の決定などはしますが、日本と違って教育に関する権限を与えられていません。各州ごとに、一般教育基準や卒業要件、教員資格のガイドラインなどを定め、公立学校は各学校区の教育委員会がカリキュラム、教職員などの雇用、予算編成などを行います。学校区の数や規模は州ごとに異なります。チャータースクール、バウチャー制度、ホームスクーリング（在宅学習）の容認なども進んでおり、多様なニーズに対応できる教育を作り出す努力がなされています。

アメリカの初等中等教育が合計12年であることは日本と変わりませんが、その構成は一様ではありません。日本のような6−3−3制もありますが、5−3−5、6−6、8−4制などがあります。20世紀初頭には8−4制がほとんどでしたが、最近は5−3−4制が増えています。義務教育年限も9〜12年でさまざまですが、9または10年とする州が最多です。就学義務開始年齢は7歳とする州が最多ですが、6歳からの就学を認めている州が多く、大半の6歳児が実際には小学校に通っています。小学校の下には幼稚園もあります。

学校の壁に貼られたアメリカの歴史

中学校の卒業式

小学校での
バレンタインデー

小学校の
フィールドデー（運動会）
ポテトサック競争

日本とアメリカ：切っても切れない深いつながり

テレビにも新聞にも毎日登場する「アメリカ」。有名人の中にもたくさんのアメリカ人がいます。
日本とはどんなつながりがあるのでしょう。

4〜5人のグループになって考えてみましょう。

1 小学校の社会の教科書の「日本の歴史」に関わる部分（6年生）で、「アメリカ」が初めて登場するのはいつ、どんなできごとでしょう。

2 アメリカで使っている「アメリカ史」の教科書の中で日本が初めて登場するのはいつ、どんなできごとでしょう。

3 アメリカで使っている「アメリカ史」の教科書の中で日本が大きく取り上げられているのはいつ、どんなできごとでしょう。

4 アメリカ人の中で有名な日本人は誰だと思いますか。3人挙げてみましょう。

5 みなさんが知っているアメリカ人にはどんな人がいますか。

6 日本で外国人登録をして住んでいる人は、2009年末で22万2184人でした。その中にアメリカ人は約5万人（52,683人　2008年12月　外務省）います。しかし、日本には外国人登録をする必要のないアメリカ人がその倍近く（9万人以上）住んでいます。彼らはどんな人たちでしょう。どのような仕事をしているのでしょう。

7 アメリカの人口は2008年に3億人を超えたと発表されました。その中に日本人は何人くらい含まれていると思いますか。（アメリカに住んでいる日本人は何人くらいでしょう。）

アメリカの人口は長年日本の約2倍でしたが、近年日本の人口が減少傾向にあるのに対し、アメリカの人口は増加を続けているので、3倍になる日が近いかもしれません。（→P.39 ）

P.19のこたえと解説です。

アメリカを多様な視点から理解する。

1 ほとんどの日本史の教科書の中で「アメリカ」が始めて登場するのは、1853年アメリカの使節ペリー総督が、黒船（黒い塗装の軍艦）4隻を率いて江戸湾の入り口、浦賀沖に現れ、日本に修好通商を求めたときです。当時江戸幕府は通商を拒否しようとしましたが、結局貿易を開始します。

2 アメリカで使われているアメリカ史の教科書、”Pacemaker United States History Third Edition”(Pearson Education, 2001)によると、アメリカ史の中で日本が登場するのは①と同じくペリーが日本に訪れたときです。内容は「日本との貿易の開始」という見出しがついており、「アメリカではアジアとの交易を長らく望んでいたが、日本と中国は関心を示していなかった。そんななか、1853年にペリーが日本を訪れ、日本のエンペラーと交渉して、通商条約を結び、交易が始まった」と書かれています。日本は鉄と石油を必要とし、アメリカは繊維などを日本から買ったこと、日本と交易が始まったあと、アジアのほかの国とも交易が始まり、そのため太平洋上で給油できる港が必要になり、ハワイのオワフ島のパール・ハーバーが候補地となったことも書かれています。ハワイは当時独立国で、アメリカは最初、港の使用許可をハワイ政府に求め、許可を得て港を使っていましたが、その後ハワイを征服し支配下に置くようになりました。

3 ②と同じ教科書では、第二次世界大戦のときの日本の動きです。特にアメリカが第二次世界大戦に参戦する引き金となった、1941年12月7日の日本軍によるハワイ真珠湾のアメリカ軍基地に対する攻撃（真珠湾攻撃）については、詳しく書かれています。

4 『週刊ダイヤモンド』誌が2006年11月11日号に「アメリカのビジネスマンに聞いた日本の著名人知名度ランキング」を掲載し話題になりました。そのランキングを紹介します。

1位 イチロー（野球選手。日米で2000本安打を達成。2009年現在シアトルマリナーズ在籍。）
2位 パフィー（アミ・ユミで構成される歌手のグループ。）
3位 小泉純一郎（政治家。日本の元総理大臣。）
4位 荒川静香（フィギアスケーター。ソルトレイクオリンピックで金メダル受賞。）
5位 王貞治 （元プロ野球選手。日本のホームラン王で監督としても活躍した。）
昭和天皇（太平洋戦争の時の天皇として有名。）
6位 松井秀喜（野球選手。元読売巨人軍、2010年現在はロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイム在籍。）
オノ・ヨーコ（音楽家であり平和活動家。ジョンレノンの妻。）
7位 渡辺 謙（俳優。「ラストサムライ」でアカデミー賞の助演男優賞にノミネートされた。）
8位 中田英寿（元全日本サッカー選手、イタリアリーグでも活躍した。）
9位 黒澤明（映画監督。「黒い雨」など多数の有名な作品を残した。1998年没）
10位 安倍晋三（政治家。2006年9月～2007年9月まで日本の第90代総理大臣。）
11位以下は本田宗一郎、北野武、田口壮、坂本九、宮本武蔵、山本五十六です。

5 皆さんで話し合ってみましょう。

6 在日米軍の軍人（ウキペディアによると平成20年で44850人、家族を含めると94217人）です。彼らは外国人登録をする必要がありません。外交官も外国人登録の必要はありません。

7 アメリカに在留している邦人（日本人）は201,900人です。
それ以外に日本国籍を保有している永住者が115,535人います。また日系人の数は約796,700人です。

2002年『アメリカ合衆国要覧』

「日系アメリカ人」について知っていますか？

現在日本にはたくさんの外国人が移民として訪れています。日本人も昔は海外に移民として渡りました。
アメリカに渡った日本人はどんな生活をしていたのでしょう。

1 「日系アメリカ人」という言葉を聞いたことがありますか?
「日系アメリカ人」ってどんな人のことを指すのでしょう。アメリカ人ですか?日本人ですか?

2 2008年・2009年NHK「紅白歌合戦」に出場した歌手のジェロさんは、「日系アメリカ人の3世」です。
「日系アメリカ人3世」とは、どんな人のことでしょう。ジェロさんのおとうさん、おかあさん、おじいさん、おばあさんはどこの国の人なのかを考えてみましょう。

3 次のお話を読んで、「アメリカにわたった移民」になったつもりで、4〜5人のグループで A 〜C の課題について話し合ってみましょう。

1868年（明治元年）、日本人初の海外移住者153名が、サトウキビ・プランテーションの労働者としてハワイに渡りました。

当時ハワイでは労働力が必要で、ハワイ政府は日本政府と話し合って移民を求めました。そして、1885年に1930人がハワイ政府と日本政府の間の約束に基づいて日本からハワイに渡りました。1894年にこの制度が廃止されるまでに26船で29,132人がハワイに渡りました。その後、アメリカ本土でより高い賃金の仕事に就けた時期があり、日本やハワイからアメリカ本土に渡る日本人が現れました。そして、ハワイやカリフォルニアでは日本人移民によって日本語の新聞や雑誌も出されるようになり、日本人の定着が進みました。1895年にはアメリカ国内に住む日本人は6000人を超えていました。

みなさんはアメリカに移民した日本人一家です。お父さんが日本から移民し、お母さんは写真を見てお父さんと結婚することにし、日本からアメリカに渡りました。アメリカで家庭を持ち、息子と娘が生まれ、今では20歳と18歳（と16歳：5人のグループの場合）です。生活もようやく安定してきました。グループの中で父、母、息子、娘の役を決めましょう。

A お父さんとお母さんは、日本でどんな仕事をして、どんな生活をしていたのか考えて話し合ってみましょう。また、お父さんとお母さんはなぜ移民をしたのでしょう?

B お父さんがアメリカに来てから、これまでの家族の生活を振り返って思い出してみましょう。
どんな生活だったか、どんなことを思ったのか、話し合ってみましょう。

C 大変です。「日本とアメリカが戦争を始めた」というニュースが入りました。そして、日本人（息子や娘はアメリカ国籍を持っているので日系人）はみんなスパイの容疑をかけられ、カバン一つに入る荷物だけ持つことを許され、砂漠の中の強制収容所に収容されることが決まりました。収容までの日にちがなかったので、家財道具などは安い値段で売るしかありませんでした。そして、収容所では全員「番号」をつけられ、粗末な食事が支給され、布団は干草でした。収容所は日本人（日系人）だけを集めたもので、過酷な強制労働などはありませんでしたが、まるで刑務所のようでした。いつ解放されるかわからないし、戦争の成り行きによって自分たちがどう扱われるのかもわかりません。こんなとき、皆さんだったらどうしますか。これからどうしていくか家族で話し合ってください。

写真の交換だけで結婚を決め、渡米した女性のことを指して、「ピクチャーブライド（写真花嫁）」ということばがあります。

P.21のこたえと解説です。

アメリカを多様な視点から理解する。

1 日系アメリカ人は「日本人を祖先に持つアメリカ人」すなわち「日本人の血が流れているアメリカ国籍を持つ人」です。例えば、お父さんが日本人でお母さんがアメリカ人でアメリカ国籍を持つ人は「日系アメリカ人」です。おじいさんが日本人で、おばあさんと両親がアメリカ人でアメリカ国籍を持つ人も「日系アメリカ人」です。「日本人の血が流れている」つまり、祖先の中に一人でも日本人がいれば「日系人」と考えられます。

2 ジェロさんは、おばあさんが日本人でそのほかの家族はアメリカ人です。「1世」とは本人、「2世」とは1世の子どもたち、「3世」とは1世の孫たちを指します。「日系2世」とは、アメリカにわたった日本人の息子や娘、「日系3世」とは、「日系2世」の子供たちのことです。

3

A アメリカに渡った移民たちの多くは、貧しい農村の長男でない人たち（次男や三男など）です。
日本にいても長男が土地や仕事を継げば、土地も仕事もなくなります。日本ではまともに生活できないのでアメリカに渡ることにした人がほとんどでした。

B 「ピクチャー・ブライド」という映画（1995年　アランパーカー監督）がありますが、最初の移民は主に男性で、生活のめどが立ち、少し落ち着いたところで結婚を考えました。しかし、まだお見合い結婚が主流の時代で決まった相手のいない人も多く、彼らは自分の写真を日本に送り、花嫁を募集しました。（若いころの映りのよい写真を送ったり、中には他人の写真のこともあったようです）そして、女性のほうも1枚の写真を頼りにアメリカに渡ったのです。花嫁たちの体験したアメリカでの生活は、日本で聞いていたのとは大きく違い、とても過酷なものだったといわれています。しかし花嫁としてアメリカに渡った女性たちも貧しい家出身の女性が多く、日本に帰ることも簡単ではなく、帰っても生活は苦しかったのでしょう。花嫁の多くはアメリカでの過酷な生活に前向きに取り組み、家庭を築き、生活の基盤を築いていきました。日系1世は、プランテーションで働いたり、開墾・入植をしたりと農業に従事した人が多いですが、鉄道建設工などもいました。
＜アメリカではアメリカで生まれた子供はアメリカ国籍をとることが可能です。＞

C 日系人たちは収容所の中に自分たちでコミュニティを作り、生活をよりよくしようと努めました。たとえば、学校を作り運動会を行ったり、畑を作って作物を栽培したりしました。
戦局が激化したころ、日系2世の男性は大きな選択を迫られます。アメリカ国籍を持つ彼らはアメリカ軍に入隊することが可能だったのです。「日系人というだけで収容所に入れたアメリカのために命をかけて祖国と戦うべきか。アメリカ人としてアメリカのために命をかけるべきなのか。」
結局多くの日系人はアメリカ軍に入隊し、命を懸けて戦いました。彼らはひとつの部隊に集められ、過酷な戦場に赴きましたが、その勇敢な戦いぶりには目を見張るものがあり、その活躍が賞賛されました。そして、2世の軍隊での活躍が、第二次世界大戦後の日系人の立場を大きく改善しました。

日系アメリカ人の歴史と映画

日本人のアメリカ本土への大量移住が始まったのは1890年からで、弾圧によって減少する中国人に代わって鉄道建設や保線作業に駆り出されました。また、カリフォルニアにおいては1909年時点で約3万人が農場で働いており、「市場向け野菜農場」を経営する日本人も出ていました。低賃金で働く勤勉さとすさまじいまでの生活力に加え、地元経済にお金を落とさない（生活用品を日本から取り寄せていた）こともあり、カリフォルニアなどで日系移民の排斥運動が出始めました。日露戦争で日本がアジア人として初めて白人を破ると、アメリカで反日感情が高まり、サンフランシスコの学校では日系生徒を隔離する動きが出ました。1907年、アメリカは日本人の移民制限を日本に同意させ、日系移民は以後ブラジルに向かいます。1924年アメリカ議会はついにすべてのアジア系移民の受け入れを拒否する法案を可決しました。

→P.23につづく

ちょっとブレイク

日系アメリカ人の歴史と映画

(→P.22のつづき)

1941年日米が開戦すると、アメリカ政府は反日感情に便乗して弾圧に乗り出しました。日系人2000人がFBIに逮捕され、1942年8月までに11万人余(うち64%は合衆国市民)がアリゾナやコロラドの砂漠や高地に作られた収容所に4年間収容されました。1990年度のアカデミー賞を受賞した『収容所の長い日々』は、日系のスティーブン・オカザキ監督のドキュメンタリーで、戦前に日系人と結婚し、そのままハートマウンテン収容所に入れられた白人女性の手記をもとにしています。日系がアメリカの一員であることを証明するために、多くの日系二世が収容所から兵役に志願しました。映画『二世部隊』で有名な第422戦闘部隊などの日系兵士たちは、最も激烈な戦線ばかりに送られ、全米史上最多勲章を受ける成果を挙げました。しかし、出征者3万300人のうち戦死者600、負傷者9000と、犠牲者の率も最大でした。この部隊の活躍が戦後の日系人の地位向上の一因となったのです。

イギリスのアラン・パーカー監督は『愛と悲しみの旅路』で白人として初めて日系収容所の悲劇を描きました。また、アメリカの白人が日系弾圧を扱った例はジョン・スタージェスの『日本人の勲章』があります。この物語は、ヨーロッパ戦線で日系兵士に命を救われた少尉兵が、戦死したその兵士の父親に勲章を届けるため西部の町を訪ねますが、父親はリンチで殺されていた、という内容です。実際、戦後収容所から解放されて家に帰った日系人に対して加えられたテロは、1945年には24件に上ったといいます。『アメリカ杉に降る雪』も日系人に対する差別を扱った作品です。

第二次世界大戦後、日系二世の軍隊での活躍が認められたこともあり、社会的成功を収めた人も多くいます。日系と中国系を中心とするアジア系移民は、高学歴・高所得者で社会的・経済的地位の高い人が多く「モデルマイノリティ」と呼ばれています。

また、大戦後日系人の強制収容やそれに伴う財産没収に対する補償運動が起こり、1988年にはレーガン大統領が日系人の強制収容に対する補償を規定した法律に署名しています。

『異文化社会アメリカ』『アメリカ文化ガイド』『多文化社会アメリカにおける国民統合と日系人学習』

日米関係　簡易年表

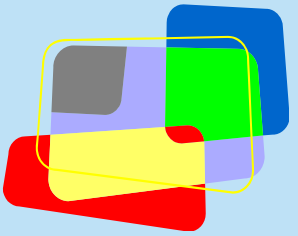
1853	ペリー総督、浦賀港に来航
1854	日米和親条約、日米修好通商条約成立、日本開港
1941	日本が真珠湾攻撃、太平洋戦争開戦
1945	アメリカが日本に原爆投下、日本が無条件降伏、太平洋戦争終結
1945−1952	日本は連合国最高司令官総司令部(GHQ)の監視下 [最高司令官マッカーサー日本駐留1945−1951]
1950−1953	朝鮮戦争
1951	サンフランシスコ講和条約締結(1952年発効)、日米安全保障条約締結
1960	日米新安全保障条約　締結
1970	日米新安全保障条約　自動延長
1971	ニクソンショック(1ドル=360円から、変動為替相場制に)
1972	沖縄がアメリカから返還

日本文化紹介の様子

山中麻奈未

第3章

一緒に考えよう！こんな課題



多様性の生み出すものは？

多民族が住むアメリカに対して、住んでいるのは日本人がほとんどの日本。「多様」と「同一」にはどんな特徴があるのでしょうか。多様化の進む日本がアメリカに学べることはなんでしょう。

「アメリカ」は「移民の国」と言われ、色々な国から人々が移民として訪れ、アメリカ国民として生活しています。日本にも色々な国出身の人が住んでいますがその割合は低く、アメリカに比べるととても同一的（同じ、似ている）と考えられます。このことが、ふたつの国のあり方に大きな違いを生み出しています。

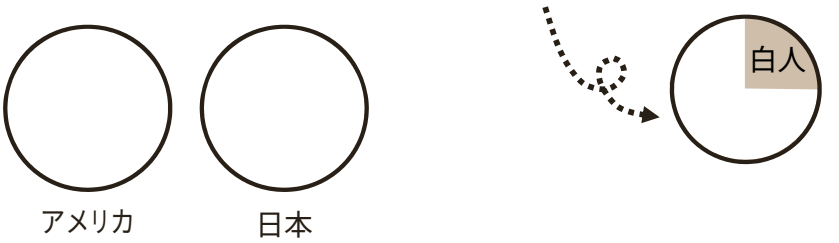
しかし、近年様々な形で日本を訪れる外国人は増え、日本に住む外国人も増えています。同一的だった日本もだんだんとアメリカのように多様化しているのです。

ここでは、「多様」すなわち「みんなが違う」とどうなるか。また、「同一」すなわち「みんなが同じ・似ている」とどうなるか、「クラス」あるいは「友達」を例にして考えてみましょう。

1 4〜5人のグループを作りましょう。

2 模造紙に2つの円を書きましょう。ひとつはアメリカ、もうひとつは日本と考え、それぞれの円の中にその国に住む人種や民族で国の人口の1%以上を占める人たちを割合がわかるように書き込みましょう。

ヒント：アメリカで1%以上を占める人種・民族は、「白人」「黒人」「ヒスパニック（ラテン系）」「アジア系」「インディアン」です。もしも、「白人」が25%いると思ったら右下のように書き込んでください。



パターン1

3 模造紙に「どんなクラスになるだろう」と書き、残りの空間を4つに区切って次の項目についてそれぞれ思いつくことを書き出していきましょう。

A もし、みんながよく似ていたら、そのクラスの良いところはどんなところだろう？

B もし、みんながよく似ていたら、そのクラスの弱い（難しい）ところはどんなところだろう？

C もし、みんなが似ていなかったら、そのクラスの良いところはどんなところだろう？

D もし、みんなが似ていなかったら、そのクラスの弱い（難しい）ところはどんなところだろう？

4 すべてのグループの模造紙が完成したら、発表をしてみんなで意見を共有しましょう。

5 「良いクラス」を作っていくためには、人々の「同じだったり似ているところ」と「違うところ」をどのように活かしていったらよいかグループで話し合って発表し合いましょう。（時間がないときは全体で考えてみましょう。）

パターン2

3 模造紙を4つに区切って、次の項目について、それぞれ思いつくことを書いていきましょう。
「自分と考え方や性格がよく似ている友達と一緒にいてよいところ」
「自分と考え方や性格がよく似ている友達と一緒にいて困ったり難しいところ」
「自分と考え方や性格がとても違う友達と一緒にいてよいところ」
「自分と考え方や性格がとても違う友達と一緒にいて困ったり難しいところ」

4 すべてのグループの模造紙が完成したら、発表をしてみんなで意見を共有しましょう。

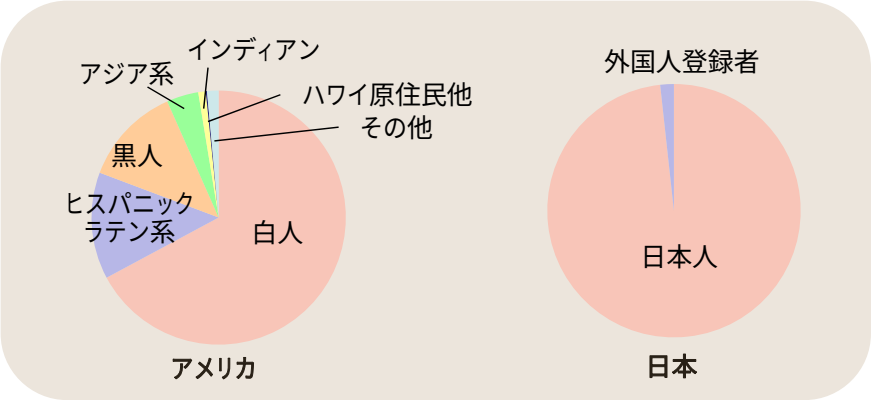
5 「自分を成長させるため」には、友達の「同じだったり似ているところ」と「違うところ」をどのように活かしていったらよいか話し合ってみましょう。また、「人にとってはどんな人間関係が望ましいのか」話し合ってみましょう。時間があるならグループで話し合って発表し合いましょう。時間がないときは全体で考えてみましょう。

P.25のこたえと解説です。

アメリカを多様な視点から理解する。

1 各グループにマジックと②と③の作業に必要な紙を配ります。

2



アメリカについては、P. 7の表参照。
日本の外国人登録者数は、2009年末現在222,184人で全人口に占める割合は、1.74%です。

3 答えの例は…

A けんかが起こりにくい、話し合いがまとまりやすい、みんな仲が良い、安心できる など

B 同じものが欲しくなり、物の取り合いが起こりやすい、おもしろい意見が出にくい、役割分担がしにくい など

C D は、A B を逆の視点で見たもの。

どんなクラスになるだろう?	
A 似ている・よい	C 似ていない・よい
B 似ている・弱い	D 似ていない・弱い

5 「多様」であること、「違うこと」にはよいところ、強いところがたくさんあるので、お互いの「違うところ」を認め合って、活かしていくことが大切だということを確認しましょう。クラスの話から発展させ、日本に来る外国人の多様性を活かしていくことも大切だということも話し合えるといいでしょう。

P.15「アメリカン・インディアン」、P.22・23「日系アメリカ人」についてのコラムを合わせて読んでみてください。

アフリカ系アメリカ人（African American）

アフリカ大陸から強制的につれてこられたアフリカ人（以下「黒人」とする）たちは、主として南部のプランテーションで奴隷として綿花労働に従事させられました。彼らは自分たちの意志に反してとらえられ、奴隷船に乗せられ、「生き地獄」ともいわれる（実際多数の死者が出た）アフリカからアメリカ大陸への船の旅を経て、競売にかけられ奴隷として売られたのです。1863年南北戦争のさなかリンカーン大統領が「奴隷解放宣言」を出すまで奴隷として強制労働させられ、その後法的には一応自由の身にはなりましたが、南部では州の法律による人種差別・隔離政策が続き、また、KKK（クー・クラックス・クラン）などによる迫害を受けました。その結果、黒人は経済・文化的に劣悪な生活を余儀なくされてきました。

黒人たちはアメリカで自由と平等を求めて戦いました。有名な「モントゴメリーのバスボイコット事件」、「公立学校における人種隔離政策は違憲であるというブラウン判決」、そして、キング牧師率いる「ワシントン大行進」などを経て、1965年に制定された公民権法によって、黒人は法律的な平等を勝ち取ったといわれます。

しかし、法律的な平等はすぐさま、社会経済的な平等を約束するものではありません。その後も黒人の戦いは続き、キング牧師や北部の黒人リーダー、マルコムXは暗殺されています。長年の差別と抑圧の影響は今日まで続いています。たとえば、2003年の統計調査でも黒人の平均世帯所得は白人の6割程度です。キング牧師は言っています。「黒人の問題は、黒人の問題というよりは貧しい人たちの問題であり、アメリカ社会がより大きな経済的正義に向かって新しい方向転換をしなければ解決できない」と。

黒人のオバマ氏が大統領となった今、アメリカはその転換を遂げようとしているのでしょうか。

「ファーストフード化」はおいしいの？

アメリカで基本スタイルができ、いまや世界に広がるファーストフードレストラン。
その特徴は？ いいところは？ 問題点は？

「安くて速い」ファーストフード。ファーストフードを出す店は、今やアメリカや日本だけでなく世界中でたくさん見られ、どんどん増加しています。レストランだけでなく、その他の分野の店にもファーストフードレストラン的な経営方針が取り入れられ、世の中全体にも影響を与えていると言われています。

1 「ファーストフード（レストラン）」と聞いて思い浮かぶお店をみんなで挙げてみましょう。

2 商品を「速く安く」出すために、ファーストフードレストランはどんな工夫をしていて、どんな特徴があるでしょうか？ 話し合ってみましょう。

3 4〜5人のグループになりましょう。

4 ファーストフードレストランの「よいところ」と「課題だと思うところ」をグループで話し合いましょう。例えば、「味」「サービス」「お店の雰囲気」などはどうでしょう？ 話し合ってみましょう。

5 それぞれのグループの意見を全体に発表しましょう。

6 多くのレストランや世の中全体がファーストフード店のようになって、ファーストフード店のような特徴をもつようになると、皆さんの生活はどのように変わるでしょう？ ファーストフード化が進みすぎると、どんな問題が出てくるでしょう？ 次の例を使ってグループで考えてみましょう。

A 毎日食事はファーストフードになる。（家で食べてもファーストフード的な食事になる。）

B レストランがみんなファーストフード店になる。

C 自分の職場がファーストフード店。（どこで働いてもファーストフード店のようになる。）

7 グループで話し合ったことをみんなに発表しましょう。 発表を聞いて、思ったことを話し合いましょう。

「ファーストフード」に対抗するひとつの動きにイタリアで始まった「スローフード」という運動があります。

P.27のこたえと解説です。

ファーストフード化の問題点に気づき、自分の生活を見直す。

1 マクドナルド、ケンタッキーフライドチキン、タコベル、モスバーガーなど。日本の立ち食いそば店もファーストフードレストランと考えられます。

2 安くて速いというファーストフードの基本スタイルをつくりあげたマグドナルド兄弟がスピードアップのために行ったのは、次の5つです。

① 25種類あったメニューを9種類にする。
② お皿やコップを紙にする。
③ ウェイトレス、ウェイターをなくす。(セルフサービスにする)
④ ハンバーガーにつけるのは、ケチャップ、マスタード、玉ねぎ、ピクルスだけにする。(商品をシンプルにする)
⑤ 調理のシステム化のためキッチンを大改造する。(人を減らして機械化も進める)

『アメリカのしくみが手短にわかる講座』

以下ファーストフードの基本スタイルを作り上げたマクドナルドについてです。話し合いの参考にしてください。

「マクドナルド化」というプロセス

「マクドナルド化」という言葉があります。(アメリカのメリーランド大学のジョージ・リッツア教授編著書『マクドナルド化と日本』2003年、共編著丸山哲央、ミネルバ書房参照)「マクドナルド化」というのは、「マクドナルド的経営や消費のスタイルが社会に広がっていく」過程(プロセス)のことです。マクドナルド的経営や消費のスタイルは1950年代中盤にアメリカに端を発し、全米に広まり、さらに世界に拡大しています。アメリカ以外で考えるとマクドナルド化のプロセスは特に日本にあっているようです。マクドナルドのチェーン店は1955年にアメリカではじめて店舗ができ、16年後の1971年に日本に進出しました。現在日本には4000店近くのマクドナルドの店舗があり、店舗数はアメリカに次いで多いです。マクドナルド化は、レストランのみならず、日米においても世界においても色々な領域で見られます。

「マクドナルド化」の特徴:『マクドナルド化」の4つの原理

①効率化 マクドナルド化の最先端システムというのは効率的なシステムです。つまり、最も直接的な、一番早いノンストップのルートを見つけて、そして目的に最もいい形で効率よく近づくということです。ファーストフードレストランに行くと自分の家で材料を買って色々料理するよりずっと早いわけです。いっそうの効率アップとしてはドライブスルーが導入されました。通常お店のスタッフが行う作業も、マクドナルド化されたレストランでは非常に組織化され、効率化されています。こういうレストランでは消費者の行動も非常に効率化されていることになります。

②予測可能性 どこへ行っても同じものを売っていて、作業も同じで、どの時間に行っても同じものが食べられます。予測可能性があれば安全であるとわかり、リスクがないとも予測できるのです。

③計算可能性 定量化ができるということであり、量に重点がおかれるわけですから、質ということは軽視されています。よってその質は中等であり凡庸です。どちらかというと味より大きさです。

④脱人間化 マクドナルド化のシステムの中では、人を人間でないテクノロジーに置き換えていきます。また、人の作業自体も単純作業化します。たとえば自動的にフレンチフライを揚げる機会があります。その機械がフレンチフライがいつできるか決め、そしてできたらすぐ上げてしまいますから、意思決定は機械がしており人間がするわけではないのです。

「マクドナルド化」の課題

「マクドナルド化」の中では何事も非常に合理的に行われるようにシステムが作られているわけですが、マクドナルド化には非合理的な面があります。ひとつはマクドナルド化の人間への影響です。食事がいつも予測可能で同じものなら、人々の楽しみを奪い、想像力をかきたてず、本当にいいものがなくなるでしょう。また、ファーストフード店の仕事と食事は「人間性を奪う」面がたくさんあります。スタッフの仕事は単純な流れ作業が多いですし、食事をするほうも流れ作業で出されたものをできるだけ早く食べて次の活動に移るのです。「脱人間化」が食事のテーブルの上で行われるのです。そのほか、環境への悪影響も問題です。

なぜ戦争が起こるのだろう？　平和な世界を作ろう！

「戦争はよくない。なくさなくてはならない。」と言われる一方で、戦争や紛争はいつになっても絶えません。
それらの戦争や紛争の多くにアメリカが関わっています。そして日本も。

なくならない戦争・紛争（戦争は国家間の争い、紛争は国内の民族間などの争いを指す）

第二次世界大戦のあと、その反省から「戦争をやめよう」というコンセンサス（合意）が国際社会で生まれ、国際連合も作られました。しかし、地域的な戦争や紛争はその後もあとを絶ちません。なぜ戦争や紛争はなくならないのでしょう。

また、これらの争いの多くにアメリカは関わっています。そして、日米安全保障条約に基づき、アメリカの軍隊の基地が第二次世界大戦以降も日本にはたくさんあります。つまりアメリカの関わる戦争や紛争と日本も無関係ではないのです。

戦争や紛争がおこる原因と戦争をなくしていく方法を次の手順で考えましょう。

1 みんなで知っている戦争や紛争の名前を挙げてみましょう。それらの争いについて知っていることも出し合ってみましょう。

2 4〜5人のグループになりましょう。

3 グループで、争いごとが起こる原因を次の関係で考えてみましょう。

A 友達の間での争いごと（けんか）の原因にはどんなことがあるでしょうか。

B 国と国の間の争いや民族と民族の間の争いの原因にはどんなことがあるでしょうか。

4 グループで考えたことを全体に発表しましょう。発表を聞いて思ったことを話し合いましょう。

5 （グループあるいは全体で）友達の間での争いを防ぐためにどんなことに気をつけたらよいのか考えてみましょう。次に、争いが起こってしまったらどうすれば早く解決できるか、考えてみましょう。

6 （グループあるいは全体で）国と国や民族と民族の争いを防ぐためにどんなことが大切か考えてみましょう。次に、争いが起こってしまったらどうすれば早く解決できるか、考えてみましょう。

調べてみよう！①

①で挙がった戦争について、戦争の原因や経過、結果について調べてみましょう。アメリカや日本は関わっているでしょうか？　戦争は防げなかったか、もっと早く解決できなかったか（できないか）についても考えてみましょう。

調べてみよう！②

アメリカはどんな戦争や紛争に、どう関わってきたのでしょう。

調べてみよう！③

第二次世界大戦以降に起こり、アメリカが関わった大きな戦争に「朝鮮戦争」があります。「朝鮮戦争」には日本も大きく関わっています。朝鮮戦争は日本に「朝鮮特需」をもたらしました。
「朝鮮特需」とはどんなことでしょう。また、「朝鮮特需」によって日本はどのような利益を得たのでしょう。

P.29のこたえと解説です。

戦争の原因を考え、戦争のもたらす利益についても知り、平和な社会をつくるためにどうすればいいかを考える。

3

A 悪口、物の取り合い、誤解、暴力、いじめ、仲間はずれ、好みの違い、考え方の違い…などが考えられます。

B 資源の取り合い、文化・宗教の違いへの不理解、権力争い、権力の押しつけ、暴力行為、暴力への報復…などが考えられます。

4 A と B で、よく似た原因があることを確認しておきましょう。

5 **6**

「争いを防ぐ方法」を考えるグループと「早期解決の方法」を考えるグループに分けて話し合う方法もあります。
⑤の意見の例：「物を分け合う」「お互いに思いやる」「仲間外れにしない」「違いを認め合う」「きちんと話し合ってわかりあう」など。早期解決の方法は、「きちんと話し合う」「誰かが仲介に入る」など
⑤で出た方法の多くが⑥にも応用できることが確認できると、身近な争いと戦争や紛争が決して無関係ではないことに気づけるでしょう。

調べてみよう！「アメリカと戦争」

アメリカは世界のたくさんの戦争や紛争と関わっています。直接軍隊を送る場合もありますが、争っているどちらかの陣営を支援したり、「仲介」という形で関わる争いもあります。ソビエト連邦が崩壊するまでは、ソ連とアメリカの直接の戦いを避けるためのいわゆる「代理戦争」もたくさんありました。

★代理戦争 ： 朝鮮戦争、ベトナム戦争、アフガニスタン内戦、イラン・イラク戦争、アンゴラ内戦などなど

★アメリカが軍隊を送った戦争・紛争 ： キューバ危機、ベトナム戦争、アフガニスタン内戦、湾岸戦争、イラク戦争などなど

★アメリカが一方の陣営を支持した戦争・紛争 ： アフガニスタン内戦、イラン・イラク戦争、アンゴラ内戦などなど

★アメリカが「仲介」に乗り出した戦争・紛争 ： パレスチナとイスラエル問題に代表される中東問題、エチオピア・リトアニア紛争などなど

調べてみよう！「朝鮮戦争と朝鮮特需」

「朝鮮特需」とは朝鮮戦争に伴って、在朝鮮アメリカ軍と在日アメリカ軍から日本に発注された物資やサービスのことです。朝鮮戦争を戦うために必要な様々な物資や兵器の生産が日本に発注されました。1952年3月に日本企業に兵器生産の許可（実質的な命令）が下されるまで、発注されたのは、被服、軍用毛布、土嚢用麻袋、各種鋼管鋼材が主で、糸ヘン景気、金ヘン景気といわれました。1952年に兵器や砲弾の生産が許可され発注されてからは、第二次世界大戦当時に戦闘機や戦車を生産していた企業がその生産を請け負いました。それらの企業は、敗戦によって中断された最新技術を入手でき、アメリカ式の大量生産技術を学ぶ機会も得ることができました。戦前の非効率的な生産方式から脱却できただけでなく、産業立国になる上での技術とノウハウを手に入れ、さらに多くの雇用と外貨を確保することができたのです。この意味で、朝鮮特需が日本の戦後の高度経済成長の礎となったことは間違いありません。

戦争・紛争は戦場になる地域には非常な惨状をもたらします。しかし戦闘に直接関わらない関連諸国や関連する人々（企業）に、色々な利益をもたらす場合があります。このことがアメリカが多くの戦争に関わるひとつの理由であり、また世界中から戦争・紛争がなくならないひとつの原因と考えられます。

フォトギャラリー

～忘れてはいけない！ アメリカの大自然～

アメリカの大きな魅力のひとつ、それは雄大な自然です。
12の世界自然遺産など豊かな自然がたくさんあります。

グランドキャニオン国立公園（1979年指定）
アリゾナ州にある峡谷で、コロラド高原がコロラド川に浸食されてできました。動物の宝庫でもあります。

イエローストーン国立公園（1978年指定）
世界最古の国立公園で、間欠泉や温泉などで有名です。狼やアメリカンバイソン（バファロー）の生息地でもあります。

ハワイ火山国立公園（1987年指定）
保護区内にあるキラウエア火山は現在も噴火活動を続けています。溶岩の流出速度が遅いので世界一安全な火山と言われています。

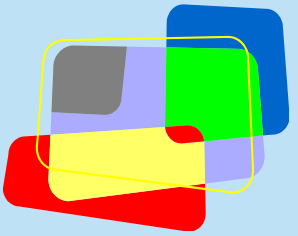
オリンピック国立公園（1981年指定）
ワシントン州にある国立公園で生物保護区です。年間300万人前後の人が訪れます。

ヨセミテ国立公園（1984年指定）
カリフォルニア州にある自然保護を目的とした国立公園です。

上2枚：山中麻奈未　下3枚：ウキペディア

第4章

そして未来へ



世界を変えるスピーチ

地球は今、様々な課題を抱えています。
あなたが今、一番気になる課題は何ですか?

1 みなさんは、「グローバルイシュー（地球的課題）」ということばを聞いたことがありますか?
原因が特定の地域だけでなく地球全体に関係している、深刻化すれば地球全体に影響がある、解決には地球全体の長期的な協力が必要である…そんな課題を「グローバルイシュー」と呼びます。
具体的にどんな課題があると思いますか? グループでできるだけたくさん模造紙に書き出してみましょう。

2 それぞれのグループが書き出した課題を発表し、みんなで共有しましょう。

3 今みんなで出し合った課題の中で、あなたが一番気になる課題は何ですか?
グループで話し合って、1つ選んでみましょう。
また、その課題について世界はどういう状況なのか、日本はどういう状況なのか、調べてみましょう。

4 さて、グループで選んだ課題を解決するための会議が開催されることになり、5分間のスピーチをすることになりました。なぜその課題に関心があるのか、その課題についてどんなことを思っているのか、その課題を解決するためにどうすればいいと思うか…などを盛り込んで、スピーチの原稿をグループのみんなでつくってみましょう。

5 では、会議の会場を想定して、実際にスピーチをしてみましょう。

6 ここに、「伝説のスピーチ」と言われている12歳の少女のスピーチがあります。この少女は、カナダに住む日系4世のセヴァン・カリス＝スズキ。遊ぶことが大好きなふつうの女の子です。そのふつうの女の子が、世界中のおとなたちを感動させたスピーチです。聞いてみてください。（P.35〜37）

7 スピーチをしてみてどうでしたか?
他のグループのスピーチや「伝説のスピーチ」を聞いてどんなことを感じましたか?
感想を話し合ってみましょう。

P.33の解説です。

地球の課題を知り、自分自身の課題としてその解決について考えてみよう。

グローバルイシュー（地球的課題）と持続可能な社会

「**グローバルイシュー**」には様々な課題が含まれますが、大きく「人権」と「環境」の2つに分けられます。例えば、1992年ブラジルのリオ・デ・ジャネイロで開催された地球サミットで採択された、21世紀に向けた持続可能な開発を実現するための行動計画『**アジェンダ21**』では、貧困、人口問題、健康と環境、人間居住、大気保全、森林減少、砂漠と干ばつ、生物多様性の保全などの課題をとりあげています。また、2000年の国連ミレニアム・サミットで採択された**ミレニアム開発目標**では、2015年までに達成すべき目標として下記の8つの項目を掲げ、189の加盟国が公約しました。

それらに掲げられているそれぞれの課題は、「貧困の問題が紛争につながる」「紛争がさらなる貧困を生みだす」「紛争は最大の環境破壊である」「環境が破壊されれば、ますます貧困になる」といったようにつながっており、原因にも結果にもなり得る悪循環をつくりだしています。さらに、地域における課題、たとえば「多文化共生」などの課題も地球の課題と共通する部分が多く、つきつめれば同じ原因で問題が起こっていたりします。

「**持続可能な社会**」とは、「持続可能な開発」、つまり、次世代のニーズを満たす可能性を損なわないで環境を利用し、現在の世代のニーズを満たす開発が行われる社会のことを言います。グローバルイシューを解決しない社会は、持続「不可能」な社会なのです。

ミレニアム開発目標（ＭＤｓ）

「今日われわれが直面する主たる課題は、グローバリゼーションが世界のすべての人々にとって前向きの力となることを確保することである」とする国連ミレニアム宣言では、国際社会の支援を必要とする喫緊の課題に対する具体的数値目標として、8の目標、21のターゲット、59の指標を掲げています。

● **貧困と飢餓をなくそう！（極度の貧困と飢餓の撲滅）**

地球上では、5人に1人が1日1ドル未満の所得で生活をし、7人に1人が慢性的な飢えに苦しんでいます。また、もっとも裕福な1%の人々が、もっとも貧しい57%の人々と同じだけの所得を得ています。所得貧困により、十分な栄養を得られない、適切な教育や保健医療を受けられない、安定した職を得られないという困難に多くの人々が苦しんでいるのです。

● **小学校に通えるようにしよう！（普遍的初等教育の達成）**

1億1,500万人の子どもが学校に通っておらず、多くは南アジアとサハラ以南アフリカに住んでいます。途上国では5人に1人が学校に通っていないことになり、その5分の3は女の子です。また、世界中の成人のうち6人に1人が読み書きできません。その数は、8億7,600万人で、その3分の2は女性です。

● **男女の差をなくそう！（ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上）**

教育を受けていない母親から生まれた子どもは、教育を受けている母親から生まれた子どもに比べ、栄養不良や5歳未満で死亡する割合が2倍になるというデータがあります。また、教育を受けた母親の子どもの就学率も高くなっています。

● **赤ちゃんを守ろう！（乳幼児死亡率の削減）**

2002年、1,000人の子どものうち5歳未満で亡くなった子どもの数は、先進国では7人、南アジアでは97人、サハラ以南のアフリカでは174人に上ります。その背景には、貧困による不十分な食糧、不衛生な水、不公平な医療サービスが挙げられるほか、紛争や災害などで抵抗力の弱い子どもたちが犠牲となっているのです。

● **お母さんを守ろう！（妊産婦の健康の改善）**

51万5,000件に上る妊産婦の死亡の99%は途上国で起こっています。先進国では、2,900人に1人の妊産婦死亡率がサハラ以南アフリカでは13人に1人です。

● **病気をふせごう！（ＨＩＶ／エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延防止）**

ＨＩＶ感染者の90%以上が途上国の人で、サハラ以南アフリカは感染者全体の70%を占めています。毎年5億人がマラリアに感染し、100万人以上が死亡しています。このうち90%はサハラ以南アフリカに住んでいます。

● **くらしを良くしよう！（環境の持続可能性の確保）**

世界の森林は、2000年までの10年間で日本の国土面積の2.5倍にあたる約9,400万ヘクタールが減少しました。そのうちの96%がアフリカと南米の熱帯林です。エネルギーの消費量は、世界の上位10カ国が全体の65%を占めており、そのほとんどが先進国です。世界の10億人以上が安全な水を利用できずにいます。下水道などの基本的な衛生施設を利用できない人は26億人にのぼります。

● **世界のみんなで助け合おう！（開発のためのグローバル・パートナーシップの推進）**

ミレニアム開発目標の達成には世界的な協力体制の下での取り組みが必要です。もはや開発は、国連や政府やＮＧＯだけが取り組むものではありません。世界中の人々が協力しなければいけないのです。

この星をこれ以上こわし続けないで

～12歳の少女が地球サミットで語った伝説のスピーチ～

こんにちは、セヴァン・スズキです。エコを代表してお話します。
エコというのは、子ども環境運動（エンヴァイロンメンタル・チルドレンズ・オーガニゼーション）の略です。
カナダの12歳から13歳の子どもたちの集まりで、今の世界を変えるためにがんばっています。
あなたたち大人のみなさんにも、ぜひ生き方を変えていただくようお願いするために、
自分たちで費用をためて、カナダからブラジルまで1万キロの旅をしてきました。

今日の私の話には、ウラもオモテもありません。
なぜって、私が環境運動をしているのは、私自身の未来のため。
自分の未来を失うことは、選挙で負けたり、株で損したりするのとはわけが違うんですから。
私がここに立って話をしているのは、未来に生きる子どもたちのためです。
世界中の飢えに苦しむ子どもたちのためです。
そして、もう行くところもなく、死に絶えようとしている無数の動物たちのためです。

太陽のもとにでるのが、私はこわい。オゾン層に穴があいたから。
呼吸をすることさえこわい。空気にどんな毒が入っているかもしれないから。

父とよくバンクーバーで釣りをしたものです。数年前に、体中がんでおかされた魚に出会うまで。
そして今、動物や植物たちが毎日のように絶滅していくのを、私たちは耳にします。
それらは、もう永遠にもどってはこないんです。

私の世代には、夢があります。
いつか野生の動物たちの群れや、たくさんの鳥や蝶が舞うジャングルを見ることです。
でも、私の子どもたちの世代は、もうそんな夢をもつこともできなくなるのではないか？
あなたたちは、私ぐらいの歳のときに、そんなことを心配したことがありますか。

こんな大変なことが、ものすごいいきおいで起こっているのに、私たち人間ときたら、
まるでまだまだ余裕があるようなのんきな顔をしています。
まだ子どもの私には、この危機を救うのに、何をしたらいいのかはっきりわかりません。
でも、あなたたち大人にも知ってほしいんです。あなたたちもよい解決法なんて、もっていないっていうことを。
オゾン層にあいた穴をどうやってふさぐのか、あなたは知らないでしょう。
死んだ川にどうやってサケを呼びもどすのか、あなたは知らないでしょう。
絶滅した動物をどうやって生きかえらせるのか、あなたは知らないでしょう。
そして、今や砂漠となってしまった場所にどうやって森をよみがえらせるのか、あなたは知らないでしょう。

どうやって直すのかわからないものをこわしつづけるのは、もうやめてください。

ここでは、あなたたちは政府とか企業とか団体とかの代表でしょう。
あるいは、報道関係者か政治家かもしれない。
でもほんとうは、あなたたちも、だれかの母親であり、父親であり、姉妹であり、兄弟であり、おばであり、
おじなんです。そして、あなたたちのだれもが、だれかの子どもなんです。

私はまだ子どもですが、ここにいる私たちみんなが同じ大きな家族の一員であることを知っています。
そうです。50億人以上の人間からなる大家族。
いいえ、じつは3千万種類の生物からなる大家族です。
国境や各国の政府がどんなに私たちを分けへだてようとしても、このことは変えようがありません。
私は子どもですが、みんながこの大家族の一員であり、ひとつの目標に向けて心をひとつにして
行動しなければならないことを知っています。

私は怒っています。
でも、自分を見失ってはいません。
私はこわい。
でも、自分の気持ちを世界中に伝えることを、私はおそれません。

私の国でのむだづかいはたいへんなものです。
買っては捨て、また買っては捨てています。
それでも物を浪費しつづける北の国々は、南の国々と富をわかちあおうとはしません。
物がありあまっているのに、私たちは自分の富を、そのほんの少しでも手ばなすのがこわいんです。
カナダの私たちは、十分な食べものと水と住まいを持つめぐまれた生活をしています。
時計、自転車、コンピュータ、テレビ、私たちの持っているものを数えあげたら何日もかかることでしょう。

2日前ここブラジルで、家のないストリートチルドレンと出会い、私たちはショックを受けました。
ひとりの子どもが私たちにこう言いました。
「ぼくが金持ちだったらなぁ。もしそうなら、家のない子すべてに、食べものと、着るものと、薬と、住む場所と、
やさしさと愛情をあげるのに。」
家もなにもないひとりの子どもが、わかちあうことを考えているというのに、
すべてを持っている私たちがこんなに欲が深いのは、いったいどうしてなんでしょう。
これらのめぐまれない子どもたちが、私と同じぐらいの歳だということが、私の頭をはなれません。
どこに生れついたかによって、こんなにも人生がちがってしまう。
私がリオの貧民街に住む子どものひとりだったかもしれないんです。
ソマリアの飢えた子どもだったかも、中東の戦争で犠牲になるか、
インドで物乞いしていたかもしれないんです。

もし、戦争のために使われているお金をぜんぶ、貧しさと環境問題を解決するために使えば、
この地球はすばらしい星になるでしょう。
私はまだ子どもだけど、そのことを知っています。
学校で、いや、幼稚園でさえ、あなたたち大人は私たち子どもに、世の中でどうふるまうかを教えてくれます。
たとえば、
争いをしないこと
話し合いで解決すること
他人を尊重すること
ちらかしたら自分でかたづけること
ほかの生き物をむやみに傷つけないこと
わかちあうこと
そして欲ばらないこと

ならばなぜ、あなたたちは、私たちにするなということをしているんですか。

なぜあなたたちが今、こうした会議に出席しているのか、どうか忘れないでください。
そしていったいだれのためにやっているのか。
それはあなたたちの子ども、つまり私たちのためです。
みなさんはこうした会議で、私たちがどんな世界に育ち、生きていくのかを決めているんです。

親たちはよく「だいじょうぶ。すべてうまくいくよ」といって子どもたちをなぐさめるものです。
あるいは、「できるだけのことはしてるから」とか、「この世の終わりじゃあるまいし」とか。
しかし大人たちは、もうこんななぐさめの言葉さえつかうことができなくなっているようです。

おききしますが、
私たち子どもの未来を真剣に考えたことがありますか。
父はいつも私に不言実行、つまり、
なにを言うかではなく、なにをするかでその人の値打ちが決まる、といいます。
しかし、あなたたち大人がやっていることのせいで、私たちは泣いています。
あなたたちはいつも私たちを愛しているといいます。
しかし、いわせてください。

もしそのことばがほんとうなら、どうか、ほんとうだということを行動でしめしてください。

最後まで私の話をきいてくださってありがとうございました。

『あなたが世界を変える日〜12歳の少女が環境サミットで語った伝説のスピーチ』
セヴァン・カリス=スズキ／著　ナマケモノ倶楽部／編・訳　学陽書房発行

地球サミット

この伝説のスピーチは、1992年6月11日、ブラジルのリオ・デ・ジャネイロで開催された国連の地球サミット（環境と開発に関する国際連合会議）の会場で、世界の指導者たちを前に行われました。

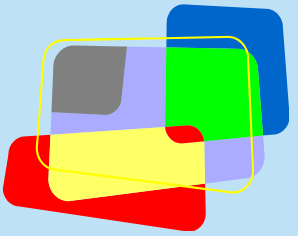
リオの地球サミットは、1992年6月3日〜14日開催され、約180の国と地域の代表、国連機関、約8,000のNGO（非政府組織）が参加、延べ4万人を超える人々が集まった史上最大規模で、その後の様々な活動に大きな影響を与える会議となりました。

この会議では、持続可能な開発に向けた地球規模の新たなパートナーシップを構築するための「環境と開発に関するリオデジャネイロ宣言（リオ宣言）」とその行動計画「アジェンダ21」が合意されました。また、「気候変動枠組条約」と「生物多様性条約」が提起されました。会議開催後、「生物多様性」といった用語が一般にも知られるようになり、さまざまな地球環境問題や生態系、絶滅危惧種等に対する一般の関心が高まるきっかけになりました。

国際連合による環境や開発を議題とする会議は約10年ごとに開催されており、2002年に南アフリカ共和国のヨハネスブルグで開催された「持続可能な開発に関する世界首脳会議（環境開発サミット）」は第2回地球サミットとも呼ばれています。

なお、この第2回地球サミットをきっかけに日本の提案により、2005年からの10年間を「持続可能な開発のための教育の10年」とすることが決定されました。これは、「環境教育」「開発教育」「人権・平和教育」を3つの柱とし、「共生と公正を基本とした循環型の社会づくり」を目的としています。

参 考 資 料

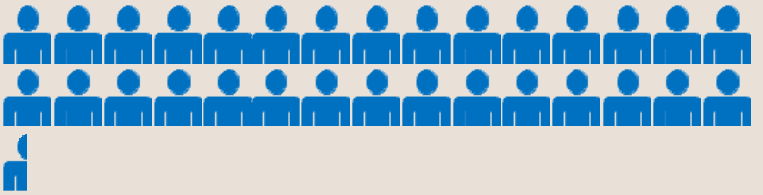


目で見るアメリカ

左上隅の50星が州の数を、赤と白の条が独立当時の13州を表す星条旗です。1776年7月4日に独立宣言が発せられ、13州連合の旗として、翌1777年1月1日から13星13条の旗を採択しました。1818年の法律で、原州を表す13条はそのままとし、以後新しい州が成立した場合は次の独立記念日から星の数を増やすことになりました。1912年以来48星でしたが、アラスカ、ハワイの州昇格によって1960年以降は50星となりました。

●人口●

304.06百万人（2008年7月1日付米国国政局推計）

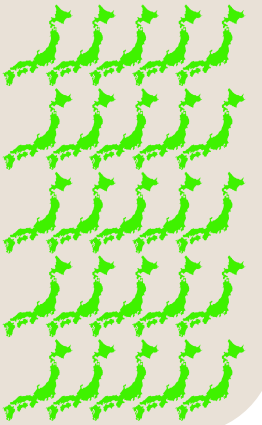


128.2百万人

●面積●

96,280,000㎢（日本の約25倍）

377,887㎢



●言語●

主として英語
（法律上の定めはない）

●宗教●

主にキリスト教
（信教の自由を健保で保障）

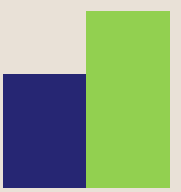
●気候帯●

北部：Dfa、冷帯湿潤（混合林）気候
南部：温帯湿潤気候
フロリダ半島先端：熱帯サバナ気候
テキサス州西部～ロッキー山脈丘陵地帯
：ステップ気候
ネバダ州、アリゾナ州：砂漠気候
カリフォルニア州：地中海性気候

●平均気温●

ワシントンD.C. 名古屋
14.6℃ 15.4℃

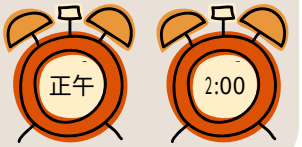
●年間降水量●



ワシントンD.C. 名古屋
1,004.2mm 1565mm

●日本との時差●

－14時間（東部）



●通貨●

アメリカドル
1ドル=92.7円
（2009年8月末）

◆国旗：『世界の国旗』吹浦忠正監修（Gakken）◆人口・面積・言語・宗教・首都・民族・通貨：外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」◆日本の人口：世界子供白書2008（ユニセフ） ◆日本の面積：総務省統計局「日本の統計」 ◆気候帯・平均気温・年間降水量：外務省ウェブサイト「探検しよう！みんなの地球」 ◆名古屋の平均気温・年間降水量：気象庁観測部観測課観測統計室「日本気候表」（S46～H12年の平均） ◆日本との時差：世界の国一覧表（財団法人世界の動き社）

●主要産業●

工業（全般）、農林業（小麦、トウモロコシ、大豆、木材他）、金融保険不動産業、サービス業

● 日本との貿易主要品目 ●

航空機類、半導体等電子部品、科学光学機器、穀物類

→

←

自動車、自動車部品、原動機、映像機器

●一人あたりのGNI●

46,040米ドル（2007年世銀）

37,670米ドル（2007年世銀）

●在留邦人数●

386,328人（2008年10月現在）

●在日アメリカ人数●

52,683人（2008年12月現在）
（外交官、公用滞在者、在日米軍を除く）

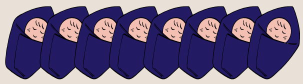
●出生時の平均余命●

78年

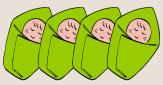
83年

● 5歳未満児の死亡率（出生1000人あたり） ●

8人（2007年）

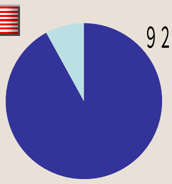


4人（2007年）



● 初等教育純就学/出席率（2000～2007年） ●

92%



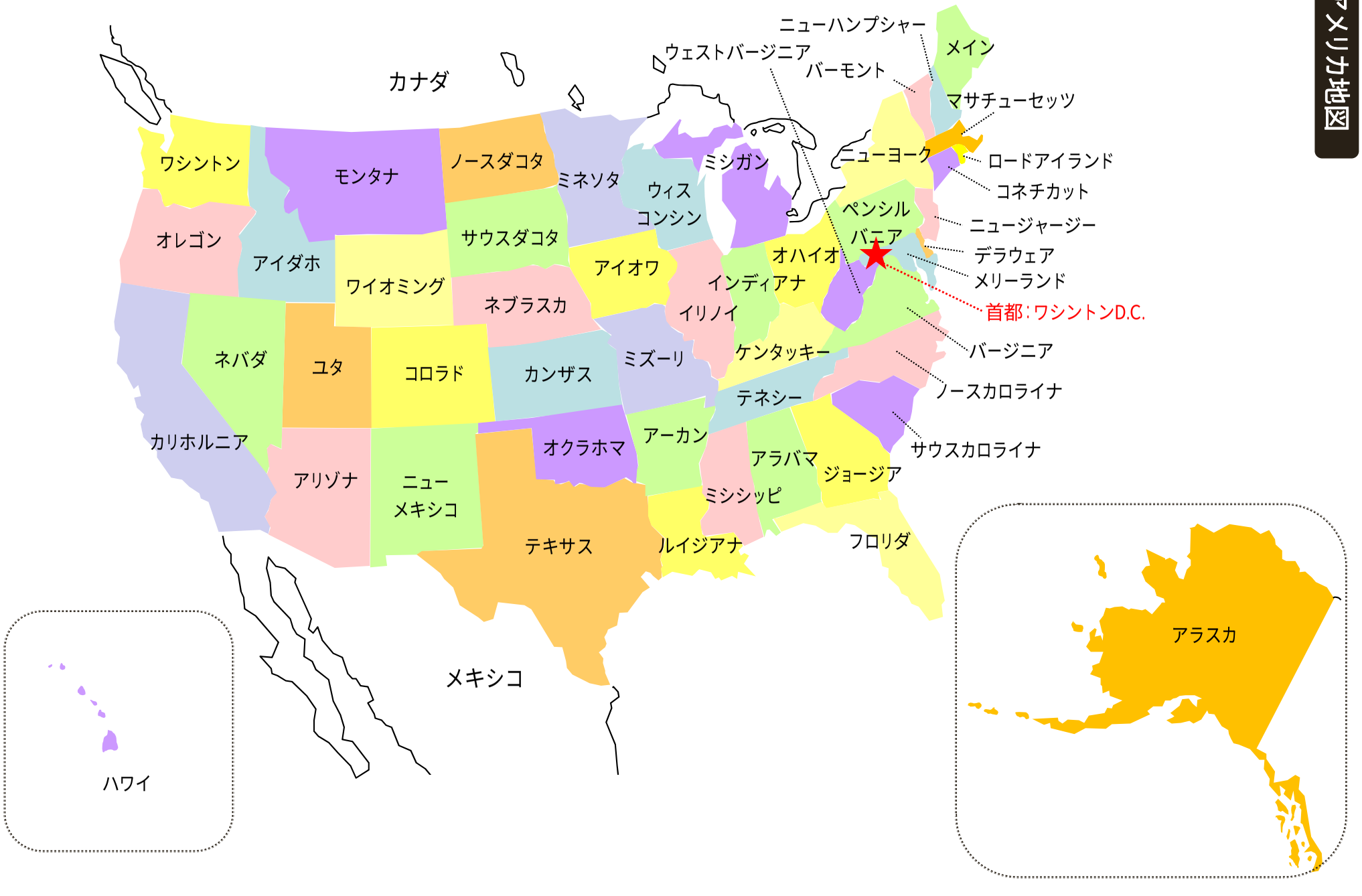
●都市人口の比率●

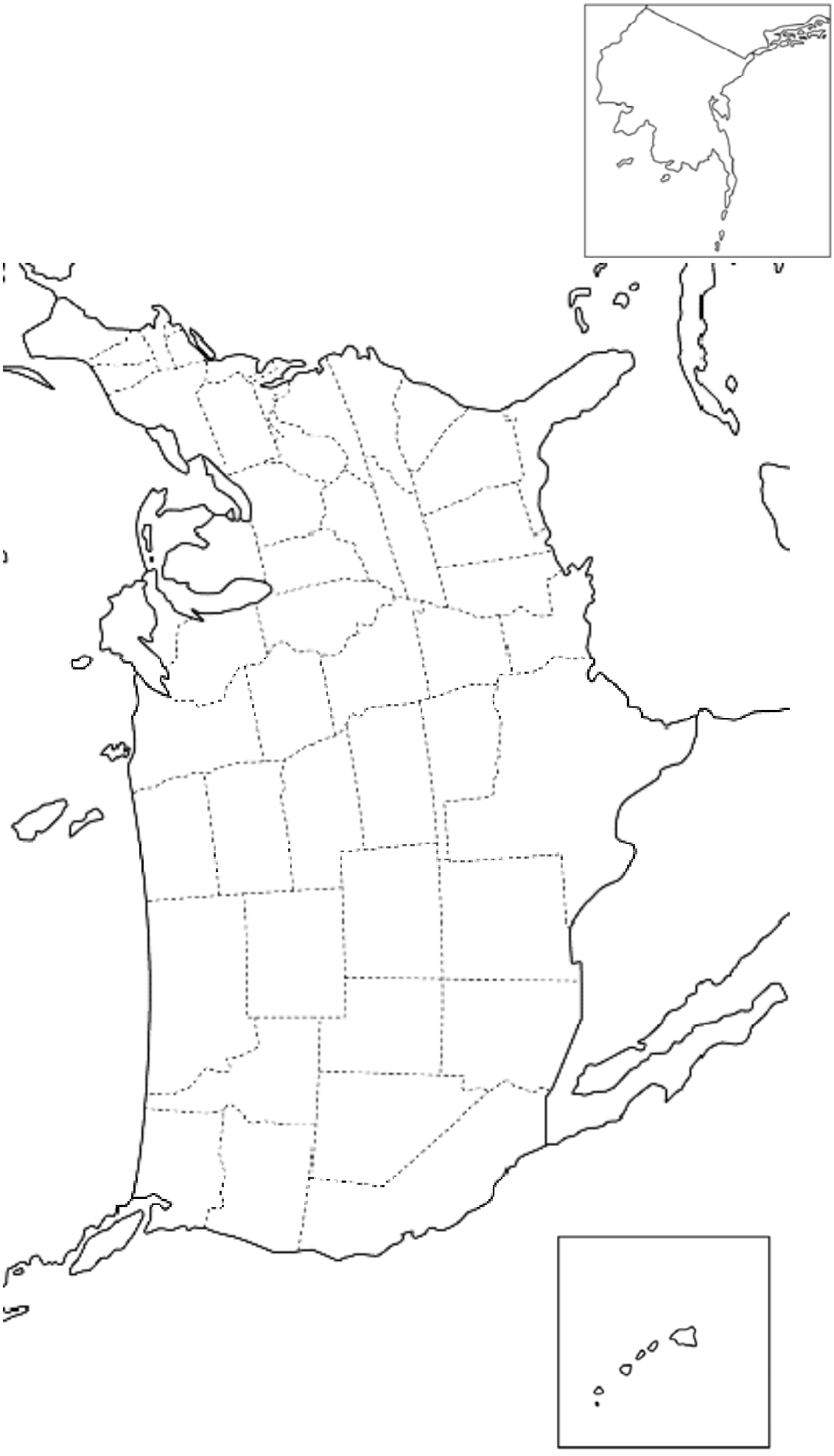
81%（2007年）

66%（2007年）

◆主要産業・日本との貿易主要品目・在留邦人数・在日アメリカ人数：外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」◆一人あたりのGNI・出生時の平均余命・都市人口の比率・5歳未満児の死亡者数・成人の総識字率・初等教育純就学／出席率：世界子供白書2009（ユニセフ）

アメリカ地図


カナダ
ニューハンプシャー
メイン
ウェストバージニア
バーモント
マサチューセッツ
ワシントン
モンタナ
ノースダコタ
ミネソタ
ミシガン
ニューヨーク
ロードアイランド
コネチカット
ウィスコンシン
ペンシルバニア
ニュージャージー
オレゴン
アイダホ
サウスダコタ
アイオワ
オハイオ
デラウェア
メリーランド
ワイオミング
ネブラスカ
インディアナ
イリノイ
首都：ワシントンD.C.
ネバダ
ユタ
コロラド
カンザス
ミズーリ
ケンタッキー
バージニア
ノースカロライナ
テネシー
カリホルニア
アーカン
オクラホマ
アラバマ
ジョージア
サウスカロライナ
アリゾナ
ニューメキシコ
ミシシッピ
テキサス
ルイジアナ
フロリダ
メキシコ
ハワイ
アラスカ



参考文献・データ等の出典

- 外務省「各国地域情勢」
  http://www.mofa.go.jp/mofaj/
- 外務省「探検しよう！ みんなの地球」
  http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sanka/kyouiku/kaihatsu/chikyu/index.html
- 総務省統計局「日本の統計」
  http://www.stat.go.jp/data/nihon/index.htm
- 財団法人日本ユニセフ協会「世界子供白書2009」
  http://www.unicef.or.jp/library/index.html
- 『異文化社会アメリカ』示村陽一（研究社、2006）
- 『図解雑学アメリカ』西岡達裕（ナツメ社、2005）
- 『ポケット図解アメリカ合衆国がよ～くわかる本』杉田米行（秀和システム、2006）
- 『アメリカ文化ガイド』日本アメリカ文学・文化研究所（荒地出版社、2000）
- 『面白いほどわかる！新しいアメリカのしくみ』向江龍治（中経出版、2008）
- 『現代アメリカ入門』堀本武功編（明石書店、2004）
- 『最新アメリカ合衆国要覧』外務省北米局監修（東京書籍、2002）
- 『マクドナルド化と日本』G.リッツア、丸山哲央編著（ミネルヴァ書房、2003）
- 『面白いほどよくわかるアメリカ』鈴木晟、荒木教夫（日本文芸社、2006）
- 『「アメリカのしくみ」が手短にわかる講座』明石紀雄（ナツメ社、2003）
- 『アメリカ黒人の歴史』本田創造（岩波書店、1991）
- 『多文化社会アメリカにおける国民統合と日系人学習』森茂岳雄編著（明石書店、1999）
- 『「民族」で読むアメリカ』野村達郎（講談社、1992）
- 『図説世界の紛争がよくわかる本』毎日新聞社外信部編著（東京書籍、2004）

ご協力いただいた方たち【敬称略】

- 田中千賀子
  （特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター）
- 山中麻奈未

2009年度教材作成チーム

安城市　長久手町
東海市　甚目寺町
東海市国際交流協会　東郷町
みよし市
特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター
財団法人 愛知県国際交流協会

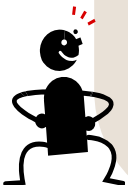
世界の国を**知る** 世界の国から**学ぶ**

わたしたちの**地球**と**未来**

アメリカ合衆国

2010年3月

発行編集

財団法人 愛知県国際交流協会
〒460－0001
名古屋市中区三の丸二丁目6番1号
あいち国際プラザ
TEL：052-961-8746　FAX：052-961-8045
E-mail：koryu@aia.pref.aichi.jp
URL：http://www2.aia.pref.aichi.jp

印刷　トッパン・フォームズ株式会社